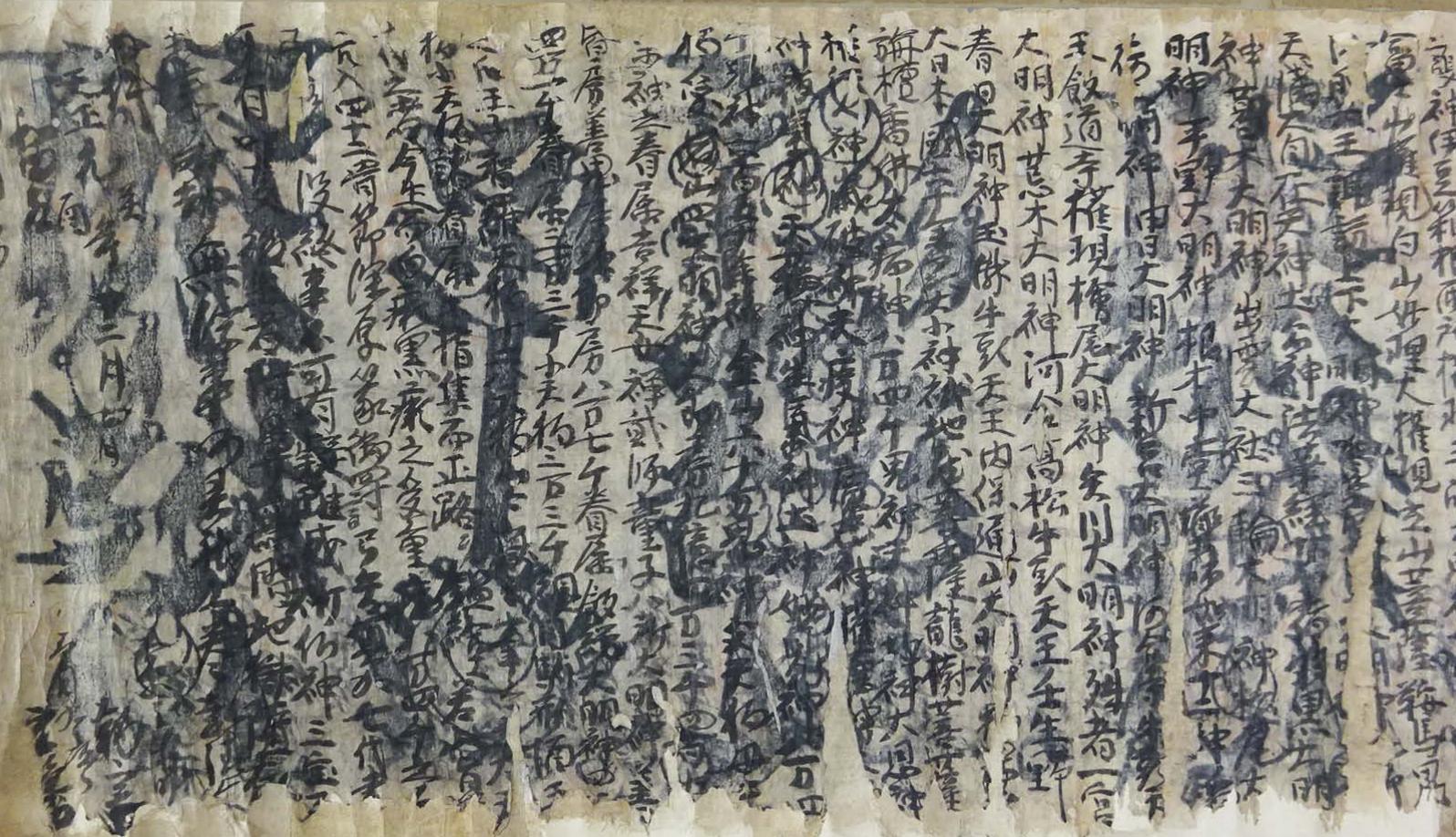
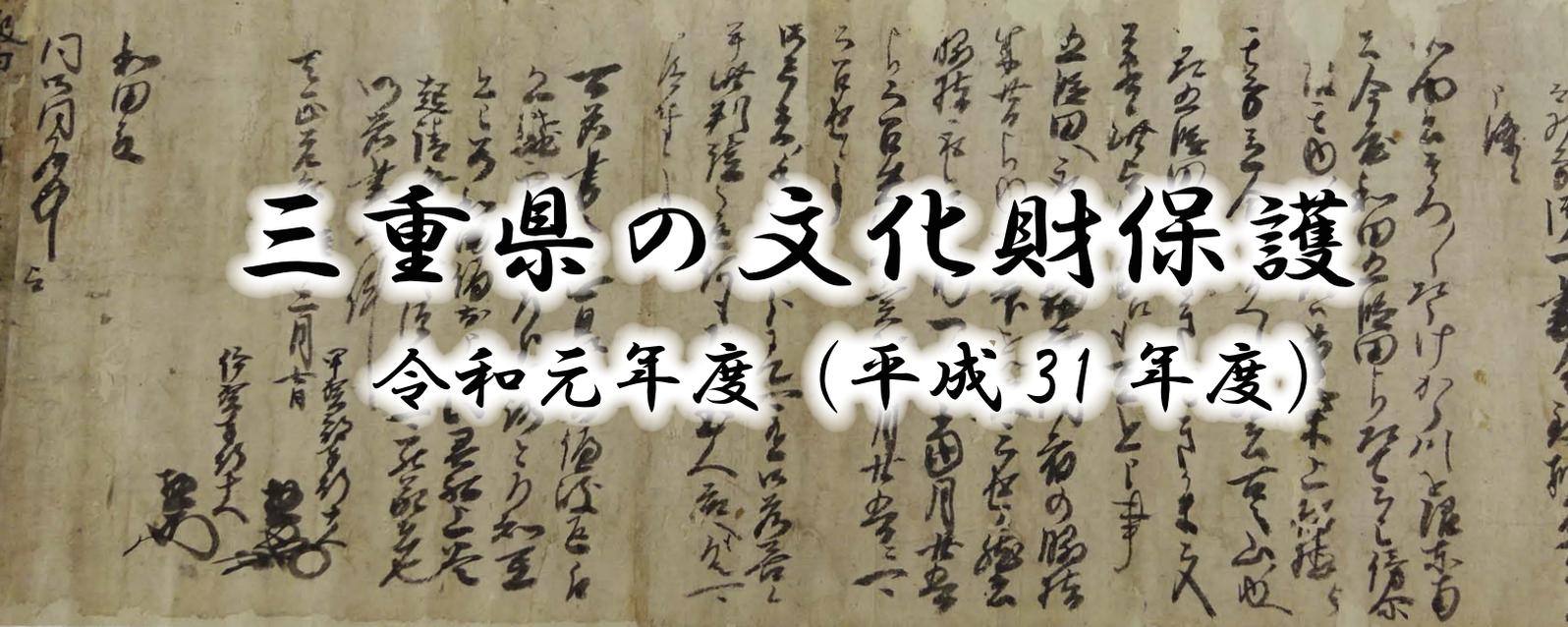


三重県の文化財保護

令和元年度（平成31年度）



2021.2

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が令和元年度（平成31年度）に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I 文化財の指定・登録	
1 県指定文化財の指定	1
2 県指定文化財の追加指定	7
3 国指定等文化財の指定等	11
4 市町指定文化財の指定等	14
5 三重県文化財保護審議会	15
II 県実施の調査・保護事業	
1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業	16
2 世界に誇る三重の文化財記録事業	17
3 世界遺産熊野参詣道保存管理事業	17
4 史 県内遺跡 発掘調査等事業	19
5 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	19
6 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業	19
7 三重県文化財保存活用大綱の策定	20
III 文化財補助事業等	
1 国庫補助事業	21
2 県費補助事業	31
3 民間団体による助成	34
IV 文化財の管理・普及	
1 登録審査	35
2 文化財の管理	36
3 国・県指定文化財に関する諸届等	47
4 文化財の公開・普及	50
V 修理事業報告	
県指定有形文化財 彫33号 木造阿弥陀如来坐像	52
県指定有形文化財 建15号 杉谷神社本殿	54

【表紙 上中段・伊賀甲賀山論関係文書（伊賀市所蔵）、下段・ぞろぞろ峠】
【裏表紙 三重県内国・県指定等文化財数】

I 文化財の指定・登録

1 県指定文化財の指定

(1) 有形文化財 古文書

書第 68 号 伊賀甲賀山論関係文書

2 巻 9 通 附 7 点

【告 示】 三重県教育委員会告示第 5 号

(R2.2.18 発行三重県教育公報 号外)

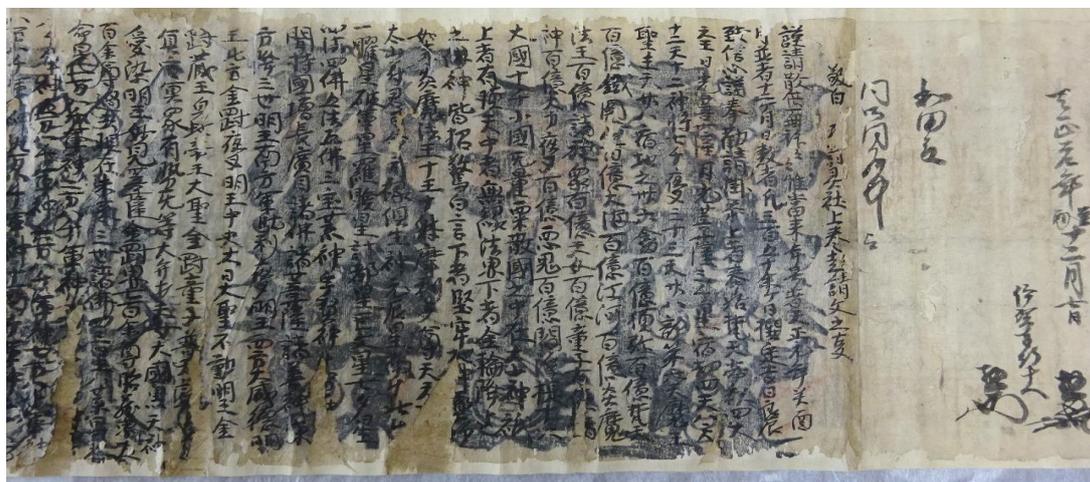
【指定日】 令和 2 年 2 月 3 日

【所在地】 伊賀市上野丸之内 40 番地の 5

(伊賀市上野図書館)

【所有者】 伊賀市

【年 代】 室町～江戸時代



《概要》

当資料は、天正元年(1573)から慶安 3 年(1650)にかけて、伊賀国上柘植村(伊賀市柘植町)と近江国和田村・五反田村(滋賀県甲賀市和田・五反田)の間で争われた山論(境界争い)に関する一連の古文書である。元は近江国甲賀郡側で保管されていたもので、現在は伊賀市の所蔵となっている。卷子 2 巻で構成され、卷子 1 に古文書 2 通、卷子 2 に古文書 7 通を収める。9 通の古文書はいずれも紙本墨書。概要は以下の通りである。

卷子 1

外題 題箋「甲賀伊賀天正証書／同慶長十一年御裁判書」の下に打付書「天正起請文」

文書① 慶長 11 年(1606)大久保長安・板倉勝重等連署裁許状

文書② 天正元年(1573)甲賀郡奉行惣・伊賀奉行惣連署起請文

卷子 2

外題 題箋「寛永慶安古文書」の下に打付書「伊賀国と近江国と／境界の件」

文書③ 慶長 11 年(1606)甲賀郡和田村・五反田村訴状案

文書④ 寛永 18 年(1641)上柘植村庄屋等連署一札

文書⑤ 寛永 18 年(1641)和田村庄屋等起請文前書案

文書⑥ 慶安 3 年 (1650)和田村・五反田村百姓等言上状

文書⑦ 年欠 (慶安 3 年頃) 上柘植村庄屋・年寄中書状

文書⑧ 年欠 (慶安 3 年頃) 上柘植村庄屋・年寄中書状

文書⑨ 年欠 (慶安 3 年頃) 上柘植村庄屋・年寄中書状

また、附属するものとして、以下の 7 点がある。

附 (1) 天正元年(1573)甲賀郡奉行惣・伊賀奉行惣連署起請文写

(2) 包紙 「甲賀伊賀天正証書 和田村蔵」とある

(3) 包紙 「慶長十一年裁判書」とある

(4) 包紙 「ほ 慶安三年五反田村境界所絵図」とある

(5) 包紙 「古文書類在中」とある

(6) 書簡 (封筒入)

(7) 箱 (内箱・外箱からなる)

《資料の内容》

当資料は、天正元年(1573)から慶安 3 年(1650)までの伊賀国上柘植村(伊賀市柘植町)と近江国和田村・五反田村(滋賀県甲賀市和田・五反田)との山論(境界争い)に関する、近江国甲賀郡側のものである。

<古文書>

- ① 慶長 11 年(1606)に発生した甲賀郡和田村・五反田村と伊賀国上柘植村との争論にあたり、幕府の奉行 3 名の連署で和田村・五反田村の惣百姓中に対し、以前の取り決めどおり山手米を両村から上柘植村に支払うことで入山を認めることを記したものの。③の文書に対する裁許状と考えられる。
- ② 文書①の前提となる天正元年の文書。起請文の形態を取り、和田殿並びに同名中に対して提出した形態をとる。和田氏は甲賀郡を支配する国人領主。前書は 2 紙の続紙で、起請文のとおり約 定とする。「甲賀郡奉行十人惣」並びに「伊賀奉行十人惣」としてそれぞれ花押 (筆書) が据えられるが、署判した人物は不明。続いて、3 紙の続紙で起請文が貼られる。3 紙の起請文は烏文字にて「那智瀧宝印」を刷った牛王宝印を翻して書かれている。これは、「霊社上巻起請文」と呼ばれる、戦国時代後半に近江国の地域的起請文として発生し、江戸時代にはほとんど見られなくなる様式である。牛王宝印は、2・3 紙目は同版で、1 紙目のみ版が異なる。文面は、2 紙目には甲賀及び伊賀在地の祭神が列記される。3 紙目の末尾には 3 名の署名・署判 (無判もあり) が見られる。裏面には引き続き 17 名の署判があると考えられ、その内容は附(1)文書に記載されている。両者の照合から、附(1)の記載はほぼ正確と判断できる。これにより、当文書の起請文部分は、前書にある甲賀・伊賀の奉行各 10 名、合計 20 名の連署によるものと判断できる。
- ③ 文書①の裁許状が発給されるに至った訴状案。②の文書が証拠資料として江戸幕府奉行所へ提示されたことも記している。
- ④ 寛永 18 年に上柘植村庄屋から和田村・五反田村惣中に対し出された一札 (念書)。和田村・五反田村が立てた境界標柱 (榜示 [傍爾]) とそれに伴う土地の扱いについて、上柘植村が了承したことを記している。
- ⑤ 文書④と同年月日にて作成された起請文案の前書。表装により末尾が欠損しており、和田村庄屋 (喜兵衛と思われる) 以外の名は見えないが、文書②の様式を踏襲していると

想定されることから連署起請文案とした。文書②の段階に指示があった通りの榜示（傍爾）を立てたことを起請文形式で誓約している。

⑥ 慶安 3 年に三たび発生した、当地をめぐる山論にかかる文書。五反田村・和田村から伊賀御奉行所（藤堂藩）に対する言上状である。

⑦～⑨ ⑦～⑨は上柘植村彦六から和田村・五反田村の庄屋・惣中に対し出された書状。年欠だが近接した月日で一連のものと考えられ、内容も文書⑥までの山論に関係することは明白である。署判する彦六は文書④にも見え、花押も同一である。内容は、上柘植村の村民の非を認めるような内容となっている。

<附>

(1)文書②の写し。製作年代は不明だが、文書①②が現状の卷子装となる大正 6 年(1917) 8 月以前のもの。虫損状況や、卷子装により現状では確認が難しい裏面部分の情報も写されている。

(2)文書②を収納していたと考えられる袋状の包紙。表題に「和田村蔵」とあり、和田村段階で作成されたと考えられる。

(3)文書①を収納していたと考えられる袋状の包紙。

(4)文書⑥に関係する絵図が収められていたと考えられる袋状の包紙。中身の絵図は現在伝わっていない。

(5)立川金右衛門から西川太治郎宛てに送られた文書の包紙。袋状となっている。

(6)西川太治郎宛て立川金右衛門送付の書簡。封筒には「大正 6 年 8 月 15 日」と考えられる消印がある。

(7)文書①～⑨及び附(1)～(6)が収められた箱で、外箱と内箱からなる。西川太治郎が作成。

《資料の伝来経緯》

当文書は、元々は近江国甲賀郡和田村・五反田村（滋賀県甲賀市）で保管されており、西川太治郎（峡陽）へ譲渡した立川金右衛門（滋賀県甲賀郡油日村五反田）は、五反田村の有力者（庄屋）の子孫であったという。明治 40 年(1907)にこの山論が最終決着を見るまでは、近江側の根拠資料として地元で大切に保管されていたと考えられる。文書の効力が喪失した後、大正 6 年(1917)に立川金右衛門から西川太治郎（峡陽）へ譲渡された(附(5)～(7))。その後、下郷伝平氏の手を経て、平成 28 年(2016)に伊賀市が入手、伊賀市立上野図書館にて保管されて現在に至っている。

なお、当資料は、大正 15 年刊行の『甲賀郡誌』では①～③・⑤・⑦・⑧を「西川氏所蔵文書」、④・⑥を「立川氏所蔵文書」として掲載、平成 3 年に東京大学史料編纂所から刊行された『大日本史料』第 10 編之 20 では、全て「下郷共済会所蔵文書」として掲載、『三重県史』資料編近世 1 (1993 年)及び『伊賀市史』第 2 巻資料編古代中世(2008 年)も「下郷共済会所蔵文書」として収録している。

《特徴》

旧伊賀国阿閉郡上柘植村（伊賀市上柘植）と旧近江国甲賀郡の山論の初見は、当資料が示す天正元年(1573)である。最終的には明治 40 年(1907)の滋賀県甲賀郡油日村長と三重県阿山郡東柘植村長並びに両村委員の連署により決着を見るが、当資料はこの山論前半期を示す資料群である。

伊賀甲賀山論関係文書一覧

番号	名 称	年月日	発給者	宛 所	構 成	紙 質	状 態
1	大久保長安・板倉勝重等連署裁許状	慶長11.9.23	大久保石見守・板倉伊賀守・米津清右衛門	甲賀郡和田・五反田村惣百姓中	折紙の1紙 (現状は切紙の2紙)	楮紙	良好
2	甲賀郡奉行惣・伊賀奉行惣連署起請文	天正元,12.7	甲賀郡及び伊賀奉行人	和田殿同御同名中	前書=統紙2紙 起請文=牛玉宝印の統紙3紙 全5紙	前書(1・2) 楮紙 起請文(3~5紙) 楮紙	破損大
3	甲賀郡和田村・五反田村訴状案	(慶長11)、7.9	甲賀郡和田村・五反田村	御奉行	切紙の統紙4紙	楮紙	良好
4	上柘植村庄屋等連署一札	寛永18.8.27	上柘植村庄屋中	和田村・五反田村惣中	堅紙の1紙	楮紙	良好
5	和田村庄屋等起請文前書案	寛永18.8.27	和田村庄屋□□□□□		堅紙の1紙	楮紙	良好
6	和田村・五反田村百姓等言上	慶安3.12.26	五反田村・和田村	伊賀奉行所	堅紙の統紙2紙	楮紙	良好
7	上柘植村庄屋・年寄中書状	(年欠)2.29	上柘植村中彦六・年寄中	和田村・五反田村庄屋・惣中	折紙の1紙	楮紙	良好
8	上柘植村庄屋・年寄中書状	(年欠)3.2	上柘植村中彦六・年寄中	和田村・五反田村庄屋・年寄中	折紙の1紙	楮紙	良好
9	上柘植村庄屋・年寄中書状	(年欠)3.3	上柘植村中彦六・年寄中	和田村・五反田村惣中	折紙の1紙	楮紙	良好
(1)	甲賀郡奉行惣・伊賀奉行惣連署起請文写	天正元,12.7	甲賀郡及び伊賀奉行人	和田殿同御同名中	堅紙の統紙5紙	楮紙	良好
(2)	包紙「甲賀伊賀天正証書 和田村藏」とある	江戸時代?			袋状	楮紙	良好
(3)	包紙「慶長十一年裁判書」とある	江戸時代?			袋状	楮紙	良好
(4)	包紙「ほ 慶安三年五反田村境塙所 絵図」とある	江戸時代?			袋状	楮紙	良好
(5)	包紙「古文書類在中」とある	大正か	立川金右衛門	西川太治郎	袋状	楮紙と檀紙(2枚重ね)	良好
(6)	書簡(封筒入り)	大正6.8.15	立川金右衛門	西川太治郎	封筒(袋状)		良好
					堅紙	半紙	良好
(7)	箱(内箱と外箱からなる)	大正6.8				外箱:ヒノキ製	良好
						内箱:ヒノキ製	良好

法 量 (cm)	備 考 (折数・折幅・封の有無等)				
全幅 100.2	折幅4.3cm、1紙目上部に墨痕				卷子1(巻末に「天正六年八月装之西川峽
1紙 縦17.1~2 幅 50.2					
2紙 縦17.1~2 幅 50.2					
全幅 145.2					
前書 1紙目 縦 22.7 幅 36.4					
前書 2紙目 縦 22.9 幅 21.8					
起請文1紙目 縦 22.8 幅 28.6	那(鳥14宝珠0)智(鳥13宝珠1)瀧(鳥12宝珠7)宝(鳥11宝珠6)印(鳥8宝珠1)宝珠(鳥12宝珠0)	印文字「吉」(陽文字)	宝珠3線	朱印5	
起請文2紙目 縦 24.4 幅 29.6	那(鳥14宝珠0)智(鳥13宝珠1)瀧(鳥12宝珠7)宝(鳥11宝珠6)印(鳥8宝珠0)宝珠(鳥12宝珠0)	印文字無	宝珠3線	朱印5	
起請文3紙目 縦 23.2 幅 30.8	那(鳥14宝珠0)智(鳥13宝珠1)瀧(鳥12宝珠7)宝(鳥11宝珠6)印(鳥8宝珠0)宝珠(鳥12宝珠0)	印文字無	宝珠3線	朱印5	
全幅 133.3	折幅不明				
1紙目 縦27.2 幅 41.6					
2紙目 縦 27.3 幅 42.8					
3紙目 縦 27.5 幅 42.3					
4紙目 縦 27.6 幅 8.8					
縦 27.8 幅 38.2	上端は卷子装の際に削除 折幅2.5cm				
縦 29.2 幅 41.8	上端は卷子装の際に削除 折幅不明				
全幅 58.2	上端は卷子装の際に削除 折幅2.9cm				
1紙目 縦 29.2 幅 43.3					
2紙目 縦 29.3 幅 15.7					
縦 26.4 幅 40.1	折幅不明				
縦 24.0 幅 34.8	折幅不明				
縦 26.6 幅 38.6	折幅不明				
全幅 157.6	文書2の写し 1紙目縦27.5幅39.2、2紙目縦27.6幅22.9、3紙目縦27.5幅35.1、4紙目縦27.6幅36.9、5紙目縦27.5幅26.4				
縦 36.8 幅 12.0					
縦 23.8 幅 11.6					
縦 37.6 幅 12.5	反古紙使用				
縦 39.6 幅 12.5					
縦 21.4 幅 8.3	切手添付				
縦 24.5 幅 33.5	(6)内に入る				
縦 35.3 横 15.4 高 8.2	上蓋表銘「甲賀伊賀天正證書／慶長拾老年御裁判書／天正起請文 以上巻／外天正御裁許書并起請文写／寛永慶安古文書巻」 上蓋裏銘「大正六年八月／西川峽陽蔵」 外側面(小口)貼付紙銘「天正證書／慶長裁判書／天正裁判書／寛永慶安／古文書」				
縦 32.8 横13.6 高 7.0	上蓋表銘「甲賀伊賀天正證書／同慶長拾老年御裁判書／天正起請文 以上巻／外天正御裁許書并起請文之写／寛永慶安古文書巻」 上蓋裏銘「大正六年八月 西川峽陽蔵(印)」				

係争地は、天正元年以前から上柘植村と和田村・五反田村との入会地になっていたが、天正元年7月から12月までの間、境界を巡って争い、武力衝突も生じていたとされる。

そこで、同年12月7日、伊賀国奉行10人と甲賀郡奉行10人により、北は「ぞろぞろ峠から川」、東南は和田村・五反田村が設定した境界杭(傍爾・榜示)より内側の山を、上柘植村と和田村・五反田村双方の入会地いりあいちとすることが決定された(文書②)。そして、和田村・五反田村は入会地で柴草を採取するかわりに、1石6斗の山手米(山野の使用料)を上柘植村に納めることになった。

ところが、慶長11年(1606)、和田村・五反田村の入会地入山を上柘植村が禁止すると主張し、和田村・五反田村が抗議し相論となった(文書③)。この相論で江戸幕府は、天正元年の決定のとおりとするよう裁決した(文書①)。

その後、寛永18年(1641)(文書④・⑤)、慶安3年(1650)(文書⑥～⑨)にも当地を巡って相論となったが、いずれも天正元年の内容順守の裁決が出されたようである。

なお、延宝6年(1678)の幕府領検地、元禄10年(1697)・天保8年(1837)の国絵図作成過程では、当地の係争状況を踏まえた取り扱いがなされ、絵図では国境線を双方が確認している(『伊賀市史』第2巻通史編近世)。明治期に至り、同9年(1876)の太政官布告により国境論争は終焉し、上柘植村の所有権が確定したかに見えたが、入会地の扱いが明記されておらず、問題はくすぶり続けた。明治40年(1907)に当地は官有地となり、旧上柘植村を含む東柘植村が国から払下げを受けて入会地機能は消滅し、山論に終止符が打たれることとなった(『伊賀町史』)。この経緯は、伊賀市が別途所蔵する資料類(市指定文化財「北打山山論文書」、同「上柘植村文書」)で確認することができる。

《評価》

当資料は滋賀県甲賀郡(旧近江国甲賀郡)に伝来した文書であるが、文書②の「甲賀郡奉行十人惣」・「伊賀奉行十人惣」とその署名により、前者は「甲賀郡中惣」、後者は「伊賀惣国一揆」を代表する者であることが具体的に判明する。当資料は、これら地縁的連合体(一揆)の実態解明と、中世後期における地域権力のあり方を探る上で極めて貴重である。また、「霊社上巻起請文」の実物資料としても高い価値を有する。

さらに、室町時代末期から明治時代に至る350年間に及び伊賀・甲賀の間で紛糾した境界論争の資料であること、江戸時代までの国境、ひいては現在の三重・滋賀の両県境がどのような経緯で成立したのかを知るための重要な資料といえる。伊賀市内に残されている在地方文書(地方文書)の空白期となっている室町時代末期から江戸時代前期の間を埋めるだけでなく、当地の山論経緯を伊賀・甲賀の双方から検証することができる資料である。

【参考文献】

- ・伊賀町編『伊賀町史』(1979年)
- ・伊賀市編『伊賀市史』第2巻通史編近世(2016年)
- ・伊賀市編『伊賀市史』第4巻資料編古代中世(2008年)
- ・三重県編『三重県史』資料編近世1(1993年)
- ・笠井賢治「伊賀惣国の再検討」(『織豊期研究』20、2018年)
- ・千々和到「霊社上巻起請文」(『國學院大學日本文化研究所紀要』88、2001年)

2 県指定文化財の追加指定

(1) 美術工芸品

考第2号 八代神社伝来資料

30点

【告 示】三重県教育委員会告示第6号
(R2.2.18 発行三重県教育公報 号外)

【追加指定日】令和2年2月3日

【所在地】鳥羽市神島町1

【所有者】宗教法人 八代神社

【年 代】古墳時代～近代

《概要》

神島は、鳥羽市街地の海上約14kmに位置する。八代神社は島の北西側にあり、海神綿津見命を主祭神とする。現在八代神社が所蔵している神宝類は、奉献された伝世品に、経塚出土資料、1960年代に行われた総合学術調査、文化財保護委員会美術工芸課等の調査で島の北東側にある崖の下の狭い砂浜から採集された資料等が加わったものとされるが、出土状況は明らかでない。



《既指定文化財》

八代神社伝来資料は、鳥羽市神島にある八代神社が所蔵する資料群である。

昭和27年に87点が県指定文化財「八代神社神宝」として指定された。昭和58年6月6日に、県指定文化財の一部を含む99点が国指定重要文化財「伊勢神島祭祀遺物」(考第397号)となった。

国指定重要文化財「伊勢神島祭祀遺物」は、古墳時代から中世の銅鏡64面のほか、7世紀前半と考えられる金銅装頭椎太刀残欠、奈良時代の三彩小壺、平安時代の経塚遺物など計99点が指定されている。銅鏡は5世紀後半の仿製鏡・画文帯神獸鏡、奈良・平安時代の唐式鏡・和鏡・湖州鏡などが8割を占め、鎌倉・室町時代以降の資料は少ない。

国指定に伴い県指定は大部分が解除されたが、国指定から除外された銅鏡・須恵器などが県指定文化財として残っている。内訳は、古墳時代から鎌倉時代の遺物5点で、古墳時代後期の須恵器1点(図1-1、陶邑編年TK10~43型式期)、平安時代と考えられる灰釉陶器3点(図1-2~4)、鎌倉時代と考えられる銅鏡1点(図1-7)である。灰釉刻文蓋付壺の外面には、網代や魚、鳥とみられる線刻が見て取れる。

《追加指定文化財》

上記の既指定文化財のほか、八代神社には中世から近代までの未指定文化財 25 点が伝来する。これらは既指定文化財を補完する内容のものである。このうち 16 点は、近世に制作されたと考えられる銅鏡・刀装具等で、その他の 9 点も八代神社の祭祀や儀礼に関わる近代の資料と推測される。航海祈願、もしくは神宮との関わりといった祭祀の実態を検討するためには、制作時期が近代の資料に関しても欠くことはできない。

追加指定した 25 点の概要は以下のとおりである。5・6 の土師器脚付小皿は、時期は江戸時代と推測され、いわゆる耳皿のような箸置きであった可能性がある。8 双雀草花文鏡の時期は、鎌倉時代から室町時代と考えられる。9 葡萄文柄鏡は柄が欠損しているが、「天下一因幡守」銘があり、砂目地に葡萄の植物文が左右非対称に描かれているため、江戸時代前半頃の作と考えられる。10 菊花文方鏡、12 桐文円鏡も砂目地で、制作時期は江戸時代である。13・14 は素文円鏡で、16 と同規模の素文円鏡が重要文化財に指定されているが、材質が類似する 11 の素文方鏡、15・16 素文円板等とともに江戸時代頃に制作された可能性がある。17～19 は刀装具で、18 は鍔金具、19 は束頭金具である。20・21 は鍛造鉄鈴。輪部分は割りピン状に内側に折り曲げて製作され、半円状の部材を下からかぶせるように接合している。21 鈴の中の玉は鉄滓片を使用している。22・23 は鉄杵、25 は鈴残欠で、これらの時期は近代か。24 鈴残欠は銅製で、外面は一部鍍金され、内面底部に 4 方向に孔のあいた円形の部材が貼り付けられている。27・28 は鍍金装銅鉾であるが、元々どのような資料に使用されていたかは不明である。26 土鈴は、下から切込みが入り、中の土玉は径 0.8cm ほどである。29 は笏で、手に持つ部分に「家次」の墨書がみられる。

30 の懸かけぼとけ仏は、円形に加工した木製の板に銅板を貼り付けており、室町時代の作である。薬師如来と考えられるため、元々は八代神社に隣接する薬師堂に懸かっていたものが、本地仏として神社に奉納された可能性がある。

《名称変更》

既指定の資料に、伝来資料のほか、出土状況が不明なもの、懸仏や刀装具を含むこととなったため、指定名称は「八代神社神宝」から「八代神社伝来資料」と変更する。

《評価》

既指定の重要文化財、県指定文化財は、古墳時代から室町時代におよぶ資料群である。今回追加指定した鎌倉時代から近代の 25 点は、神島の祭祀が長期間継続していたことを裏付けており、伊勢湾における海上交通の要衝として神島が信仰の対象であった時期を検討する上で重要である。

なお、重要文化財とあわせて評価すると、八代神社所蔵資料は 5 世紀後半、6 世紀中頃、7 世紀前半、平安時代後期（銅鏡・経塚出土資料）、近世～近代と、大きく 5 つのまとまりに分類でき、祭祀が継続して執り行われてきたことがわかる。

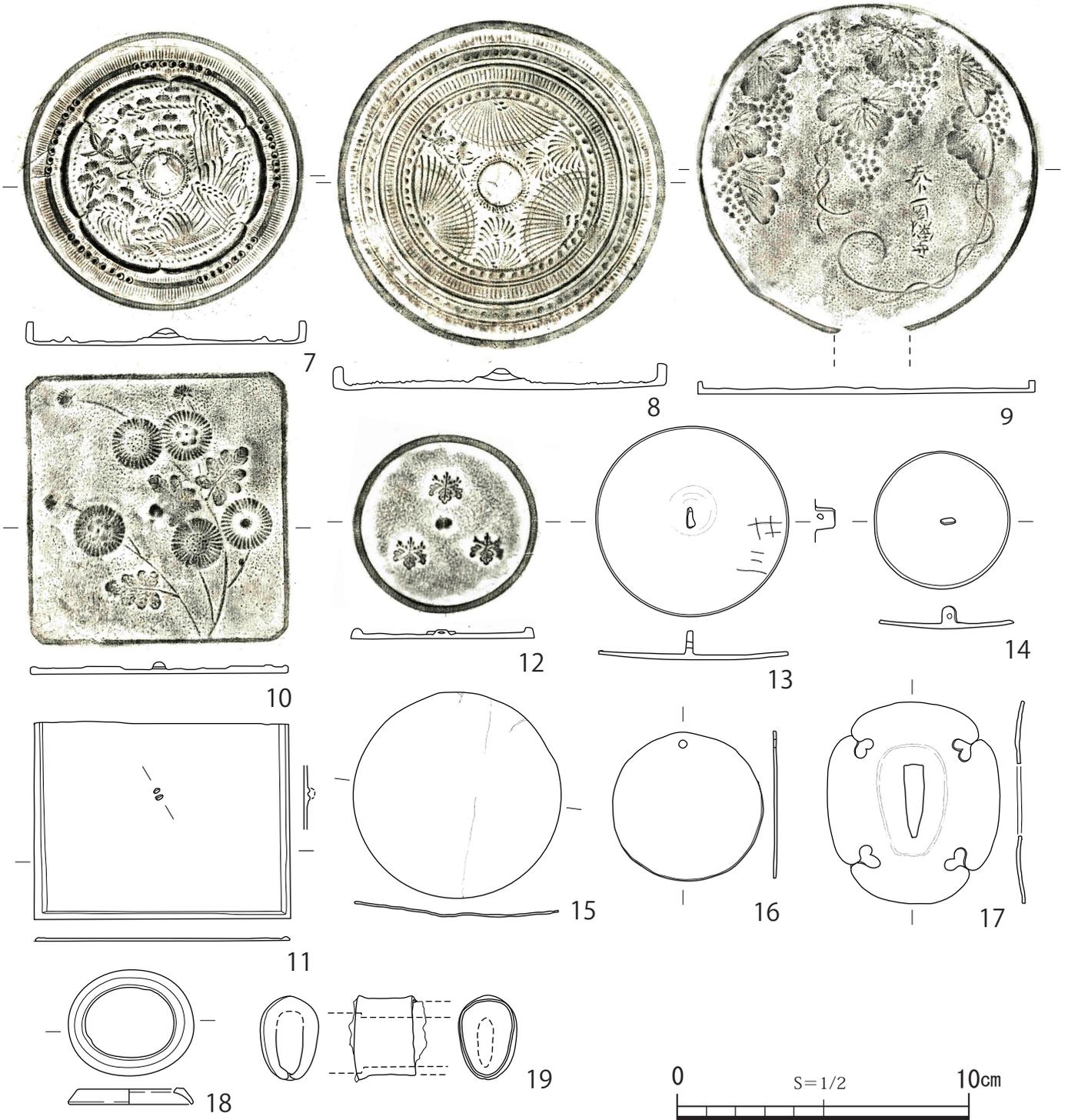
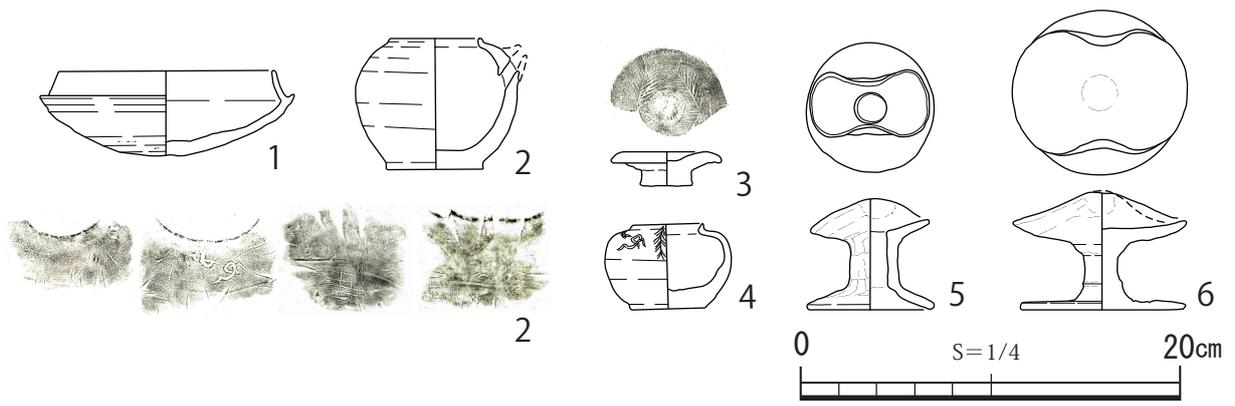


図1 八代神社伝来資料 (1~6: 1/4, 7~19: 1/2)

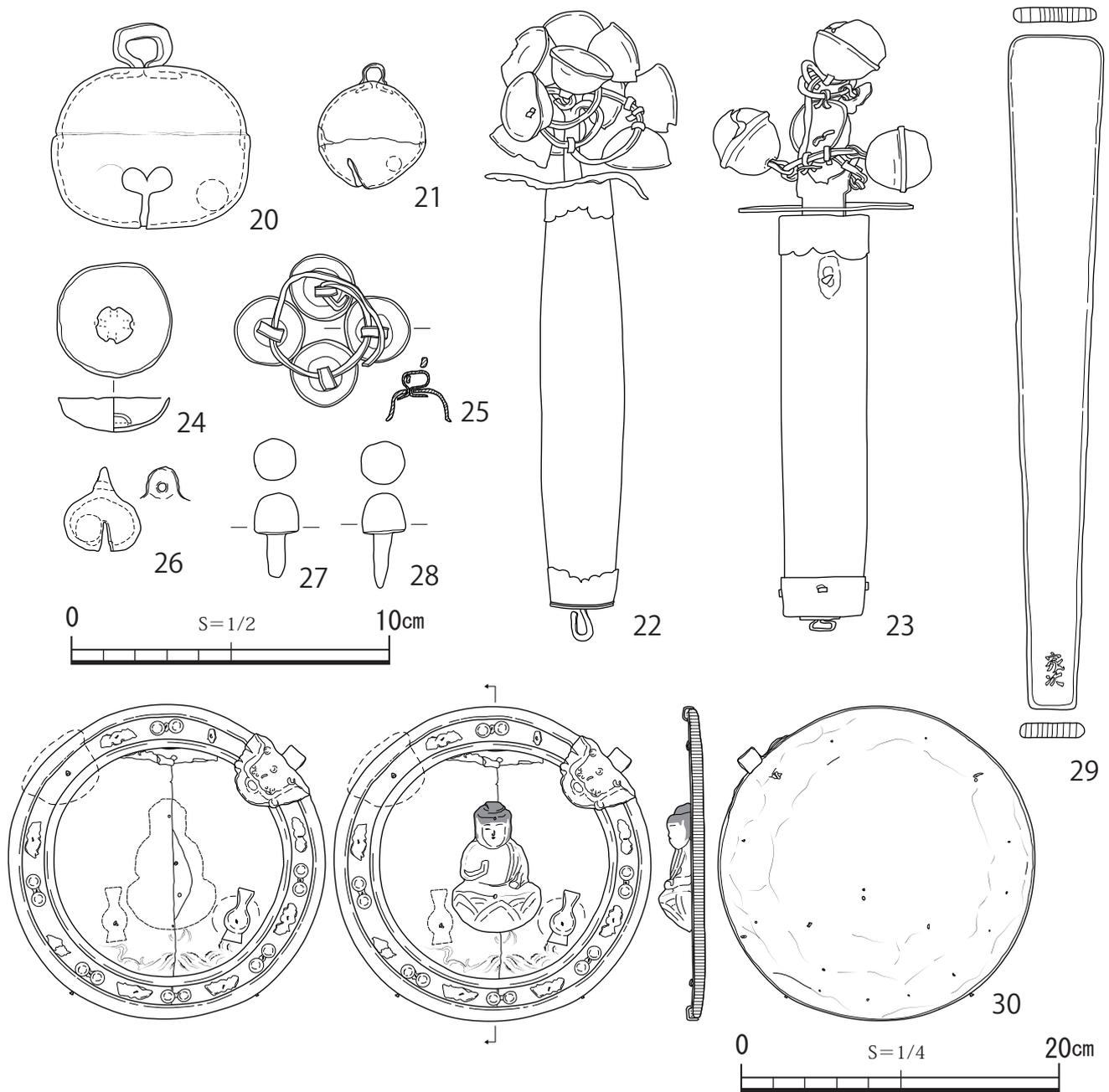


図2 八代神社伝来資料 (20~28 : 1/2, 29~30 : 1/4)

1	須恵器杯身	11	素文方鏡	21	鉄鈴
2	灰釉注口小壺	12	桐文円鏡	22	鈴杵
3	灰釉刻文蓋付壺 蓋	13	素文円鏡	23	鈴杵
4	灰釉刻文蓋付壺 壺	14	素文円鏡	24	鈴残欠
5	土師器 脚付小皿	15	素文円板	25	鈴残欠 (4連)
6	土師器 脚付小皿	16	素文円板	26	土鈴
7	蓬萊鏡	17	鍔金具	27	鍍金装銅鈔
8	双雀草花文鏡	18	刀装具	28	鍍金装銅鈔
9	葡萄文柄鏡	19	刀装具	29	笏
10	菊花文方鏡	20	鉄鈴	30	懸仏

八代神社伝来資料一覽表

3 国指定等文化財の指定等

(1) 有形文化財（建造物）の登録

24-0267 旧一志波瀬郵便局

1 棟

登録日：令和元年9月10日

所在地：津市一志町波瀬

所有者：個人

建設年代：昭和6年／昭和30年頃・平成29年改修

登録基準：(二) 造形の規範となっているもの

概要：一志波瀬郵便局は、昭和6年に電信電話の本格開始に伴って建てられた建物で、昭和6年から昭和47年まで三等郵便局（昭和16年から特定郵便局）として業務を行った。建物は寄棟屋根の木造平屋建てで、外壁は主にペンキ塗りの下見板張りである。街道に面した玄関は、正面に面格子付きガラス窓と小台が付き、左右にはどちらからも出入りできるよう扉が設けられている。建物内部には執務室、局長室（応接室）、宿直室、電話交換室などが残っており、地方における郵便局舎建築を知る上で貴重な建物である。建物の前には、郵便局舎当時の旧型ポストが置かれており、街並みを彩っている。



24-0268 旧山田郵便局電話分室

1 棟

登録日：令和元年9月10日

所在地：伊勢市本町

所有者：西日本電信電話株式会社

建築年代：大正12年／昭和60年改修

登録基準：(二) 造形の規範となっているもの

概要：山田郵便局電話分室は、大正12年に伊勢神宮外宮の北側に建てられた建物で、同じ敷地内に旧伊勢郵便局舎（明治42年建設）（国指定重要文化財・現在は愛知県の明治村に移築）があり、この建物での電話交換業務は大正12年から昭和29年まで行われた。建物は平屋建てで、平面形は「コ」の字形をしている。煉瓦造で、外面はモルタル、白セメントを吹きつけ、煉瓦造の郵便局舎としては現存唯一の事例である。赤色の棧瓦葺き屋根に独特な形の破風や窓を配し、白色の壁に縦長の窓を並べている。近代の建築家である逓信省技師・吉田鉄郎が最初期に手がけた作品で、日本の近代建築を考える上でも重要な建物である。



24-0269～0272 山中家住宅主屋・納屋・土蔵・表門

4 棟

登録日：令和元年9月10日
 所在地：名張市本町
 所有者：個人
 建築年代：主屋：江戸末期／昭和59年改修
 離れ：明治前期／明治中期改修
 北蔵：江戸末期
 南蔵：江戸末期
 登録基準：主屋・北蔵・南蔵…



(一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
 離れ… (二) 造形の規範となっているもの

概要：山中家住宅は名張市中心部にあり、初瀬街道沿いの新町通りから本町通りにかかる南東隅に位置している。元々建物を所有していた角屋源三郎は宿屋を営んでおり、江戸時代末期に建てられた主屋は、近世宿場町の景観を伝える町屋建築である。主屋は、つし二階建てで、切妻屋根の北棟と入母屋屋根の南棟からなり、北棟正面のつし二階部分には白漆喰が塗り込められている。敷地の奥に建つ離れは、二階座敷の付書院や欄間の彫刻に趣向を凝らしており、すっきりした良質なつくりである。敷地内には土蔵造り二階建ての北蔵と南蔵が建ち、伊賀地域の伝統的な建物構成を伝えている。

24-0273 熊野古道おもてなし館（旧朽尾家住宅店舗兼主屋）

1 棟

登録日：令和元年9月10日
 所在地：熊野市木本町
 所有者：熊野市
 建築年代：明治中期／平成26年改修
 登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：熊野市中心部の熊野街道沿いにある建物で、元々の所有者である朽尾家は、江戸時代から主に金物を扱う小間物問屋を営んでおり、今回登録される建物は明治時代中期に建てられた店舗兼主屋である。平成25年に朽尾家から熊野市へ建物が寄贈されたのちは地域の誘客周遊拠点施設として改修された。建物は、切妻屋根の、つし二階建てで、熊野街道に面して建つ。正面を黒漆喰塗りとして、中央に白漆喰で縁どった虫籠窓を設ける。内部は何度か改修されているが、奥の座敷には当初の姿が残る。東側にある袖塀とともに、熊野街道の歴史的景観をかたち作っている。



(2) 記念物（名勝地関係）の登録

横山氏庭園

登録日：令和2年3月10日

所在地：三重郡菰野町大字菰野

所有者：個人

年代：昭和43年

概要：横山氏庭園は、登録有形文化財（建造物）

「横山家住宅」にある庭園である。昭和43年（1968）に横山氏が書院の新築と茶室の移築を行った際に、庭園研究者で設計者でもあった重森三玲（しげもりみれい・1896～1975）に設計を依頼して



造られた。正門から主屋玄関までの玄関前庭、主屋と書院の南側に広がる表庭、主屋と書院の北側の裏庭、茶室に伴う露地（ろじ）の四つからなる。玄関前庭は門から玄関まで斜め方向に切石敷が伸びる。表庭は主屋と書院に南面する枯山水である。地面に白砂を敷き、その中に低い築山（つきやま）を心字形（しんじがた）に配置している。背後の築山も含め、全体に大ぶりの石を多数組む。裏庭は主屋と書院に北面し、右方向から左方向へセメントによる斜線状の区切りを十條引き、その区切りの間に赤砂と白砂を交互に敷く。露地は、書院、腰掛待合（こしかけまちあい）、茶室等を飛石が結び、蹲踞（つくばい）を配している。

以上のように、昭和40年代に造られた庭園で、その意匠性は高く、当該地域の造園文化の発展に寄与した意義深い事例と言える。

3 市町指定文化財の指定等

(1) 指定

市町	種別	名称	所在地	所有者 (保持団体)	指定日
松阪市	有形文化財 (建造物)	朝田寺書院	松阪市朝田町	朝田寺	H31.4.8
伊勢市	史跡	境楠	伊勢市中島1丁目、宮川 2丁目	国土交通省	R1.7.25
鈴鹿市	有形文化財 (考古資料)	須賀遺跡出土弥生土器大型壺	鈴鹿市国分町 (鈴鹿市考古博物館)	鈴鹿市	R1.9.24
四日市市	有形文化財 (彫刻)	塑造仏頭	四日市市西日野	顕正寺	R1.10.9
名張市	無形民俗文化財	火縄づくりの製作技術	名張市上小波田	上小波田火縄保存 会	H31.4.2
亀山市	有形文化財 (歴史資料)	橘糸重自筆書簡 附 橘糸重関連資料	亀山市南崎町 亀山市若山町	個人 亀山市歴史博物館	H31.4.1
	有形文化財 (考古資料)	鈴鹿関跡出土品	亀山市関町木崎	亀山市	H31.4.1
伊賀市	有形文化財 (考古資料)	下郡遺跡出土木簡	伊賀市緑ヶ丘本町	伊賀市	R2.3.24
	有形文化財 (建造物)	旧上野市庁舎 附 建築関係図面 *今回は附の追加指定	伊賀市阿保	伊賀市	R2.3.24

(2) 解除

市町	種別	名称	所在地	所有者 (保持団体)	解除日
伊勢市	天然記念物	境楠	宮川堤	国土交通省	R1.7.25
四日市市	有形文化財 (工芸品)	古萬古 赤絵龍文大鉢・赤絵斗鶏 文雪輪手鉢・灰釉鶴亀陽刻文茶碗	(市外移動)	個人	R1.10.9
伊賀市	有形文化財 (古文書)	伊賀国上柘植村并近江国和田・五 反田村山論関係文書	伊賀市上野丸之 内	伊賀市	R2.2.3

5 三重県文化財保護審議会

(1) 審議会委員 (任期：平成30年9月24日～令和2年9月23日)

氏名	担当分野	所属
林 良彦	建造物	奈良文化財研究所客員研究員
黒田 龍二	建造物	神戸大学大学院教授
梶谷 亮治	絵画・工芸	奈良国立博物館名誉館員
山口 泰弘	絵画・工芸	三重大学教授
永島 明子	絵画・工芸	京都国立博物館室長
伊東 史朗	彫刻	和歌山県立博物館長
松岡 久美子	彫刻	近畿大学准教授
藤澤 典彦	彫刻・考古資料・歴史資料(石造物)	大阪大谷大学非常勤講師
岡野 友彦	文書・典籍・歴史資料	皇學館大学教授
岡 薫 偉久子	文書・典籍・歴史資料	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
櫻井 治男	民俗	皇學館大学名誉教授
古家 信平	民俗	筑波大学名誉教授
鬼頭 秀明	民俗	中京大学非常勤講師
広瀬 和雄	考古資料・史跡・埋蔵文化財	国立歴史民俗博物館名誉教授
小澤 毅	考古資料・史跡・埋蔵文化財	三重大学教授
高橋 知奈津	名勝・埋蔵文化財	奈良文化財研究所研究員
向井 譲	天然記念物(植物)	岐阜大学教授
森 誠一	天然記念物(動物)	岐阜協立大学大学院教授
前迫 ゆり	天然記念物(植物)	大阪産業大学大学院教授
道林 克禎	天然記念物(地質・地形)	名古屋大学教授

(2) 審議会

第1回	日時	令和元年7月22日(月)13時30分～16時30分
	場所	三重県庁 7階 教育委員室(三重県津市広明町13)
	内容	○報告 令和元年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 令和元年度三重県指定候補文化財について ○審議 令和元年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について、ほか
第2回	日時	令和元年12月23日(月)13時30分～16時30分
	場所	三重県庁 7階 教育委員室(三重県津市広明町13)
	内容	○報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○審議 令和元年度三重県指定候補文化財について、ほか ○答申 令和元年度三重県指定候補文化財の指定等について

II 県実施の調査・保護事業

1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業

【事業費 2,706,103 円（国 2/3 1,804,000 円、県 902,103 円）】

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね 8 年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長） 武田明正（三重大学名誉教授） 高柳 敦（京都大学大学院農学研究科講師） 橋本幸彦（四日市大学環境情報学部准教授）			
現地調査員	松 阪 市	木下 幸一・木下 康次	紀北町 旧海山	平山 彰也・堀内 俊明
	大 台 町	谷口 文吾・東浦 徹	尾 鷲 市	吉澤 映之・小林 真
	紀北町 旧紀伊長島	森井 大輔・深瀬 優貴		
連絡会議	開 催 日	令和元年 7 月 6 日（土）	場 所	大台町役場

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね 8 年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長） 武田明正（三重大学名誉教授） 高柳 敦（京都大学大学院農学研究科講師） 橋本幸彦（四日市大学環境情報学部准教授）			
現地調査員	いなべ市藤原町	坂倉 義行・近藤 恒三	菰 野 町	満田 学・森 豊
	いなべ市北勢町	小森 良一・出口 幸雄	四 日 市 市	棚瀬賢一郎・棚瀬 裕貴
	いなべ市大安町	伊藤 友貴・山田 忠俊	鈴 鹿 市	前田 有・小岐須 佐典
連絡会議	開 催 日	令和元年 7 月 7 日（日）	場 所	菰野町役場

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。令和元年度は大分県で開催された。

開催日	令和元年10月10日（木）：会議 10月11日（金）：現地視察	会 場	ホテル金水苑（大分県佐伯市駅前 2 - 4 - 13） 現地視察：大分県豊後大野市三重町
参加者	富田靖男、武田明正、橋本幸彦、亀井勇希		

2 世界に誇る三重の文化財記録事業【事業費 404 千円（県 404 千円）】

(1) 映像記録等作成活用事業

「鳥羽・志摩の海女漁の技術」の保存継承と魅力発信のため、海女漁に関連する民俗行事である「石鏡のカツキオリ」について映像を編集しDVDを作成した。

(2) 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展

三重・石川・福井3県の海女漁及び関連する習俗について、各県で調査した結果やその魅力などをパネル等により共同展示し、一般県民等に、3県における海女漁の共通性や独自性などを含めた形で紹介することにより、海女漁の認知度向上を図るとともに、その重要性をアピールした。

開催期間	展示場所
令和元年7月29日～8月2日	三重県庁
令和元年9月7日～9日	東京・三重テラス
令和元年11月2日、3日	東京・ジャパンハーベスト（農林水産省連携）
令和元年11月5日～18日	石川県庁
令和元年11月17日	東京・Fish-Oneグランプリ（農林水産省連携）
令和元年12月3日～13日	福井県生活学習館
令和元年12月16日～26日	福井県坂井市役所ホール
令和2年1月8日～2月6日	三重県立図書館

(3) 海女習俗情報発信事業

海女漁及び関連する習俗について認知度向上を図るため、令和元年9月8日に東京・三重テラスにおいて、ゲストに鳥羽市教育委員会の豊田祥三氏を迎えて「海女トーク」を開催し、40名の来場者を得た。このほか、「鳥羽・志摩の海女漁の技術」について紹介するリーフレットを作成した。

(4) シンポジウム「THE MINZOKU」

民俗文化財が災害復興の過程で果たす役割や地域づくりに対し手担いうる役割を広く周知することを目的として開催した。

基調講演 東北大学東北アジア研究センター 教授 高倉浩樹 氏

『東日本大震災の災害復興への文化財の貢献』

講演1 明和町 味噌井拓志 氏

『集落全域で展開する祭礼行事とその課題～「棚橋の神事」を事例に～』

講演2 三重県教育委員会 小濱 学

『日常生活の中にある民俗文化財～国重要無形民俗文化財「鳥羽・志摩の海女漁の技術」』

総合討論 『地域づくりの役割をになう民俗文化財』

コーディネーター 三重県教育委員会 伊藤文彦

3 世界遺産熊野参詣道保存管理事業【事業費 310 千円（県 310 千円）】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16.7.7登録、平成28.10.24追加登録）の良好な保存管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金 220 千円】

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長 鈴木英敬（三重県知事）

委員 廣田恵子（三重県教育委員会教育長）、河上敢二（熊野市長）、
中井克佳（紀北町教育委員会教育長）

監事 森下宏也（三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長）

② 三県協議会総会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
開催日時 令和元年6月27日（木）15:00～16:00
議事内容 平成30年度の事業報告・決算・監査報告、令和元年度事業計画・予算案
事業計画 保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催、行政担当者会議の開催、普及啓発活動（「紀伊山地の参詣道ルール」の周知）、シンボルマークの利用促進

③ 三県協議会専門委員会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
開催日時 令和元年11月18日（月）13:30～16:30
議事内容 ・遺産影響評価（HIA）について（共通議題）
・参詣道の保全活動に係る記録について（報告）
・構成資産復旧工事の集成について（報告）
出席委員 櫻井敏雄（（公財）和歌山県文化財センター理事長）
高須英樹（和歌山県立自然博物館館長）
西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授）
速水亨（速水林業代表）
増井正哉（京都大学教授）
山陰加春夫（高野山大学名誉教授）

④ 第7回 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

開催地 熊野市文化交流センター（三重県熊野市井戸町）
開催日 令和2年1月17日（金）13:30～16:30
内容 講演1「熊野参詣道の保存管理について」三重県教育委員会
講演2「和歌山県における管理調整制度について」和歌山県観光振興課
講演3「世界遺産地域における太陽光発電への対応について」三重県教育委員会
ワークショップ「現在の業務上で抱えている課題と解決」

⑤ 世界遺産登録15周年シンポジウム

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会が主催となって、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録15年の歩みを振り返り、価値と魅力を再認識するとともに、保全や活用の将来について議論を深めるシンポジウムを開催した。

開催地 世界遺産熊野本宮館（和歌山県田辺市本宮町本宮）
開催日 令和2年1月18日（土）13:30～15:30
内容 基調講演「世界遺産を巡る近年の動向」西村幸夫（日本イコモス国内委員会顧問）
シンポジウム「紀伊山地の霊場と参詣道 15年の歩み」
コーディネーター 西村幸夫
パネリスト 多田稔子（田辺市熊野ツーリストビューロー会長）
岡橋純子（聖心女子大学現代教養学部准教授）
辻林 浩（和歌山県世界遺産センター顧問）
伊藤文彦（三重県教育委員会主査）

(2) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時 令和元年5月21日（火）10:30～12:00
場 所 県尾鷲庁舎
内 容 世界遺産熊野参詣道の保全にかかる課題

② 世界遺産講演会

開催日時 令和元年9月21日(土) 13:30~15:50
場 所 紀北町立紀伊長島公民館(紀北町東長島)
内 容 基調講演「四国遍路～近代化とともに変化する巡礼～」
森 正人(三重大学人文学部教授)
対談「熊野参詣と四国遍路～歴史的・文化的な共通点・相違点」
伊藤文彦(三重県教育委員会)

4 史 県内遺跡 発掘調査等事業

【事業費 16,028 千円(国 1/2 8,014 千円・県 1/2 8,014 千円)】

(1) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 2,096 千円(国 1/2 1,048 千円・県 1/2 1,048 千円)】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺 跡 名	所 在 地	原 因	期 間	面積㎡	主要遺構、遺物
深田遺跡 ほか	鈴鹿市東玉垣町	農地整備事業(経営体 育成型)	R1.11.5~ R2.1.10	3,046	竪穴住居、土坑、溝、ピット 弥生土器、土師器、須恵器、陶器
小社遺跡	度会郡玉城町小 社曾根	農業用施設 アスベスト 対策事業	R1.9.25~ R2.1.24	560	竪穴住居、土坑、溝、ピット 土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉 陶器、山茶碗
計				3,606	

(2) 埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 842 千円(国 1/2 421 千円、県 1/2 421 千円)】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

令和元年度は、合計 11 点の長頸鏃の保存処理を実施。

(処理委託：(公財)元興寺文化財研究所、(株)吉田生物研究所)

(3) 国史跡齋宮跡発掘調査【事業費 13,090 千円(国 1/2 6,545 千円・県 1/2 6,545 千円)】

国史跡齋宮跡解明のために、史跡西部の「初期齋宮」想定地の実態を解明するための調査として、約 400 ㎡の計画調査(第 197 次)を実施した。詳細は齋宮歴史博物館年報を参照されたい。

5 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

【事業費 2,000 千円(国 1/2 1,000 千円・県 1/2 1,000 千円)】

埋蔵文化財を題材とした教材を製作し、主に子どもたちを対象に学校等への出前講座や体験事業を実施して活用し、埋蔵文化財を通じて地域に根差した人材の育成や地域の魅力を引き出すことを目指した。

6 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,028 千円(国 1/2 1,014 千円・県 1/2 1,014 千円)】

齋宮跡出土品について保存修理を行う。令和元年度は、緑釉陶器 1 点、土師器 4 点、墨書土器 3 点について、解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、及び銅製品 1 点の保存処理を行った。

修理委託：(株)吉田生物研究所

7 三重県文化財保存活用大綱の策定

(1) 経緯

平成31年4月1日付けで改正された文化財保護法第183条の2第1項において、「都道府県の教育委員会は、当該都道府県域の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な施策の大綱を定めることができる。」とされた。これにより、本県教育委員会では、県内の有識者による三重県文化財保存活用大綱策定委員会を構成し、本大綱の策定検討を行った。

本事業については、令和元年度からの2ヶ年事業とし、初年度の令和元年度は、委員会による検討（中間案の提示）、市町及び文化財所有者への周知及びパブリックコメントを実施した。最終年度の令和2年度には本大綱を策定（完成）する。

なお、三重県文化財保存活用大綱策定委員会の構成委員は三重県文化財保護審議会委員とも重複するため、三重県文化財保護審議会条例第7条の規定による部会としても位置づけた。

(2) 委員会（部会）の構成

三重県文化財保存活用大綱策定委員会 (三重県文化財保存活用大綱策定部会)	岡野友彦（皇學館大学教授）担当：有形文化財 委員長（部会長） 櫻井治男（皇學館大学名誉教授）担当：民俗文化財 小澤 毅（三重大学教授）担当：史跡名勝・考古資料 森 誠一（岐阜協立大学大学院教授）担当：天然記念物
---	--

(3) 委員会（部会）の開催状況

第1回	日時・場所	令和元年5月27日（月）9：00～12：00 三重県庁 7階 教育委員室第1会議室
	内容	○三重県文化財保存活用大綱の構成（案）について
第2回	日時	令和元年10月28日（月）9：00～12：00 三重県庁 7階 教育委員会第1会議室
	内容	○三重県文化財保存活用大綱（中間案）について
第3回	日時	令和2年2月4日（火）9：30～12：00 三重県庁 7階 教育委員会第1会議室
	内容	○三重県文化財保存活用大綱（中間案）について

(4) 事業経過等（平成元年度）

日時	内容・名称	対象	開催場所等
R1.6.3	三重県議会（教育警察常任委員会）報告	県議会議員	
R1.6.20	教育委員会定例会 報告	教育委員会委員	
R1.7.5	市町等教育長会議 報告	市長教育長	
R1.7.12	三重県史跡整備市町協議会研修会 報告	協議会構成市町	伊勢市小俣支所
R1.11.27	第2回三重県文化財保護連絡会議 報告	市町文化財保護部局	県総合博物館
R1.11.27	第37回三重県文化財講習会 報告	文化財所有者、一般参加者	県総合博物館
R2.3.9	教育委員会定例会 報告	教育委員会委員	
R2.3.12	三重県議会（教育警察常任委員会）報告	県議会議員	
R2.3.18	パブリックコメント 開始	県民	R2.4.17まで

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	3,300,000,000	総事業期間	H22-R4
R1度事業額	320,000,000	国補助額	272,000,000	県補助額	22,000,000
事業内容	主屋ほか5棟の解体・半解体工事。 R1度：広間…経師工事・建具工事、玄関及び座敷…経師工事、洋館…塗装工事・内装工事、 玉突場…左官工事、主屋…仮設工事・解体工事・揚屋工事・基礎工事・木工事・構造補強工事、 発掘調査、主屋洋室…解体工事、基礎工事、左官工事、表門…解体工事				
備考	設計監理：(公財)文化財建造物保存技術協会、工事請負：松井建設(株)名古屋支店、経師工事：(株)松井春峰堂、タイル製作：(株)復元屋、発掘調査：(株)文化財サービス三重営業所				

事業者	宗教法人 猪田神社	事業名	重文 猪田神社本殿 建造物保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	39,400,547	総事業期間	H30-R1
R1度事業額	16,040,540	国補助額	12,832,000	県補助額	1,604,000
事業内容	檜皮屋根葺き替え及び塗装工事(一部彩色)、防蟻土壌処理等。				
備考	設計監理：(公財)文化財建造物保存技術協会、工事請負：谷上社寺工業(株)				

事業者	宗教法人 猪田神社	事業名	重文 猪田神社本殿 防災・耐震対策重点強化(防災施設等)		
所在市町	伊賀市	総事業費	55,390,000	総事業期間	R1-2
R1度事業額	31,590,000	国補助額	26,851,000	県補助額	3,159,000
事業内容	消火設備工事(貯水槽・ポンプ室・機器類設置)、警報設備工事(自動火災報知設備、炎感知器)、倒木予防工事。				
備考	設計監理：永田設計、工事請負：ニッタン(株)中部支社				

事業者	伊勢市	事業名	重文 旧賓日館本館ほか2棟 防災・耐震対策重点強化(耐震対策)		
所在市町	伊勢市	総事業費	27,642,027	総事業期間	R1-2
R1度事業額	17,228,027	国補助額	8,614,000	県補助額	1,205,000
事業内容	地盤調査(ボーリング・標準貫入試験)・構造図作成、耐震診断、補強案策定。				
備考	委員：菅原洋一(三重大学名誉教授)、藤田香織(東京大学大学院工学系研究科准教授)、高橋知奈津(奈良文化財研究所) 保存整備委員会：令和2年1月15日、委託：(株)文化財構造計画				

事業者	鳥羽市	事業名	登録 旧鳥羽小学校校舎建造物保存修理（登録有形文化財）		
総事業費	668,074,000	総事業期間	H26-R5		
R1度事業額	6,820,000	国補助額	4,433,000	県補助額	—
事業内容	耐震補強工事				
備考	技術指導：(株)文化財構造計画、工事請負：有限会社藤建設				

事業者	個人	事業名	登録 中森家住宅主屋ほか1件 美観向上整備事業		
総事業費	3,740,000	総事業期間	R1		
R1度事業費	3,740,000	県補助額	2,431,000	県補助額	—
事業内容	主屋・離れの瓦の葺き替え				
備考	工事請負：森中瓦葺店				

事業者	個人	事業名	登録 旧猪子家住宅土蔵 美観向上整備事業		
総事業費	3,547,193	総事業期間	R1		
R1度事業費	3,547,193	国補助額	2,128,000	県補助額	—
事業内容	土蔵よろい囲いの杉板外壁の取り換え				
備考	工事請負：東原建築工房				

事業者	個人	事業名	登録 丸岡家住宅主屋ほか1件 美観向上整備事業		
総事業費	5,300,354	総事業期間	R1		
R1度事業費	5,300,354	国補助額	3,180,000	県補助額	—
事業内容	長屋門外壁貼替・縁側部分補修等の木工事、主屋玄関庇部屋瓦葺き替え・主屋南部分部屋瓦葺き替え等の屋根工事、長屋門東面・主屋玄関部を対象とした漆喰補修左官工事等。				
備考	技術指導（設計監理）：高橋徹都市建設設計工房、工事請負：株式会社廣垣工務店				

事業者	近畿日本鉄道株式会社	事業名	登録 近鉄宇治山田駅本屋 美観向上整備事業		
総事業費	18,260,000	総事業期間	R1		
R1度事業費	18,260,000	国補助額	9,130,000	県補助額	—
事業内容	外壁タイルの清掃・塗装と、窓ガラス清掃、内装の一部塗装。				
備考	工事請負：株式会社堀崎組				

(2) 美術工芸品

事業者	宗教法人 専修寺	事業名	重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	54,789,000	総事業期間	H21-R5
R1度事業額	3,504,510	国補助額	1,927,000	県補助額	350,000
事業内容	専修寺聖教 82 点のうち、「唯信鈔文意」「一念多念文意」「唯信鈔託宣記」「善性本御消息集」「浄土真宗聞書」「疎頌抄出」「後世後聞書」7 点の修理（令和元年度・令和2年度の2か年計画）。				
備考	委託先：(株) 松鶴堂				

事業者	松阪市	事業名	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理		
総事業費	36,070,000	総事業期間	H25-R5		
R1度事業額	2,418,000	国補助額	1,209,000	県補助額	—
事業内容	松浦武四郎関係資料のうち瀑布図（書画・器物類 69）、「玉ほこの」詠草（書画・器物類 119）の修理。				
備考	委託先：(株) 坂田墨珠堂				

(3) 無形文化財

事業者	伊勢型紙技術保存会	事業名	重無 伊勢型紙 無形文化財（伝承）団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	241,880,000	総事業期間	H5-
R1度事業額	11,570,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。				

(4) 民俗文化財

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	49,210,710	総事業期間	H24-
R1度事業額	3,203,710	国補助額	1,600,000	県補助額	320,000
事業内容	片町祭車本体漆塗修理、入江段町祭車破魔鉄輪等修理				
備考	<p>伝承部会委員：長谷川嘉和（同志社大学非常勤講師）、鬼頭秀明（中京大学講師）、藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長）、山崎 剛（金沢美術工芸大学学長）、黒田大介（鈴鹿工業高等専門学校准教授）、二宮義信（慶二級建築設計事務所）</p> <p>保存伝承部会：平成31年4月24日、令和元年9月6日、令和2年2月18日 請負：株式会社 渡邊美術工藝（片町祭車）、有限会社八野大工（入江段町祭車）</p>				

事業者	上野文化美術保存会	事業名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費	50,960,040	総事業期間	H28-
R1度事業額	6,200,040	国補助額	3,100,000	県補助額	620,000
事業内容	東町楼車車輪修理（修理最終年度）、福居町楼車前水引幕復元新調（3カ年計画の初年度）				
備考	<p>審議会委員：植木行宣（元京都学園大学教授、※令和元年7月まで）、長谷川嘉和（同志社大学非常勤講師）、久保智康（京都国立博物館名誉館員）、藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長）、二宮義信（慶二級建築設計事務所）</p> <p>審議会：令和元年7月2日、令和元年10月8日、令和2年2月25日</p> <p>請負：澤田建築（東町楼車）、株式会社龍村美術織物（福居町楼車）</p>				

事業者	富田鯨船保存会連合会	事業名	重無民 鳥出神社の鯨船行事 民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	四日市市	総事業費	2,509,214	総事業期間	R1-
R1度事業額	2,509,214	国補助額	1,200,000	県補助額	240,000
事業内容	中島組神徳丸横幕の復元新調にかかる下絵及び構図作成、屋形屋根幕の復元新調				
備考	<p>指導委員：鬼頭秀明（四日市市文化財保護審議会委員）、久志本まどか（四日市市文化財保護審議会委員）、藤井健三（西陣織会館顧問）、野村史隆（元海の博物館職員）、二宮義信（元長浜市職員）、山崎 剛（金沢美術工芸大学学長）</p> <p>修理指導委員会：令和元年5月15日、令和元年10月4日、令和2年2月4日</p> <p>請負：百武打敷店</p>				

事業者	志摩市	事業名	登有民 志摩半島の生産用具及び関連資料 民俗文化財伝承・活用等		
総事業費	7,002,197	総事業期間	H30-R2		
R1度事業額	5,002,197	国補助額	2,500,000	県補助額	—
事業内容	資料整備（写真撮影、実測図作成、聞き取り調査、資料カード作成等）の実施				
備考	<p>指導委員：野村史隆（鳥羽市文化財専門員）、小島孝夫（成城大学教授）、西城利夫（伊勢河崎商人館事務局長）、崎川由美子（元志摩市歴史民俗資料館館長）</p> <p>指導委員会：令和元年5月24日、令和元年10月7日</p>				

(5) 記念物

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
総事業費	551,708,000	総事業期間	H24-R1		
R1 度事業額	112,863,028	国補助額	55,096,000	県補助額	3,716,000
事業内容	遺構表示、園路整備、公園広場整備、サイン施設整備、植栽、便益施設整備、整備報告書				
備考	委員：山中章（三重大学名誉教授）、黒崎直（富山大学名誉教授）、岡田登（皇学館大学前教授） 箱崎和久（奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長）、 伊藤久嗣（四日市市文化財保護審議会委員）、中川ゆかり（羽衣国際大学教授） 中森ゆき子（四日市市文化振興に関する市民会議委員）、古市立美（久留倍遺跡運営委員会会長） 整備検討委員会：令和2年3月24日 業務委託：大塚オーミ陶業（株）、S Sデザイン設計・服部 工事請負：（株）中村組、聖建工（株）、（石藤）石藤石材店、（有）館造園				

事業者	鈴鹿市	事業名	史 伊勢国分寺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
総事業費	451,435,000	総事業期間	H20-R1		
R1 度事業額	37,382,000	国補助額	18,691,000	県補助額	2,616,000
事業内容	芝張り、説明板設置、外周路ほかの浸水性舗装、車止め設置、保存整備事業報告書				
備考	委員：伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、加藤二三子（元鈴鹿市青少年育成市民会議会長）、 桐生悦夫（元河曲地区町民会議会長）、中島義晴（奈良文化財研究所）、 箱崎和久（奈良文化財研究所）、林紘（鈴鹿市考古博物館サポート会会長）、 渡辺寛（皇学館大学名誉教授）、朝倉由希（東京藝術大学非常勤講師） 保存整備検討委員会：令和元年5月30日、令和2年2月26日 工事請負：近藤緑化（株）				

事業者	松阪市	事業名	史 松坂城跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
総事業費	576,652,000	総事業期間	H26-R7		
R1 度事業額	10,850,000	国補助額	5,425,000	県補助額	759,000
事業内容	危険木・支障木伐採実施設計及び伐採、石垣測量調査、狭小箇所への拡幅工事実施設計				
備考	委員：千田嘉博（奈良大学教授）、門暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）、 河北秀実（前三重県埋蔵文化財センター所長）、内田和伸（奈良文化財研究所）、 小澤毅（三重大学教授）、西形達明（関西地盤環境研究センター顧問） 整備検討委員会：令和元年6月17日、10月18日、令和2年2月26日 業務委託：（株）空間文化開発機構、松阪飯南森林組合、アジア航測（株）				

事業者	宗教法人 神宮	事業名	史 旧林崎文庫 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	169,110,000	総事業期間	R1-R4		
R1 度事業額	10,000,670	国補助額	5,000,000	県補助額	—
事業内容	土堀解体工事、危険木・支障木伐採				
備考	委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授） 活用整備事業委員会：令和元年12月2日、令和2年3月10日 工事請負：(株)富士建設				

事業者	伊賀市	事業名	史 伊賀国庁跡 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	94,545,000	総事業期間	R1-6		
R1 度事業額	6,791,431	国補助額	3,382,000	県補助額	—
事業内容	保存整備実施設計、境界杭設置				
備考	委員：坂井秀弥（奈良大学教授）、寺崎保広（奈良大学教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所） 穂積裕昌（三重県埋蔵文化財センター）、上出通雄（府中地区住民自治協議会）、 高崎義昭（坂之下区長） 整備検討委員会：令和元年12月6日、令和2年2月5日 業務委託：中央コンサルタンツ（株）				

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	216,435,000	総事業期間	H23-R2		
R1 度事業額	25,614,000	国補助額	20,491,000	県補助額	1,792,000
事業内容	平成22年度先行取得した史跡地（18,303.26㎡）の経費償還				

事業者	鈴鹿市	事業名	史 伊勢国府跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	52,877,000	総事業期間	R1-R2		
R1 度事業額	7,365,000	国補助額	5,892,000	県補助額	515,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	10,841,591,000	総事業期間	S54-R14		
R1 度事業額	43,598,000	国補助額	34,877,000	県補助額	6,539,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事業者	明和町	事業名	史 齋宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	212,509,581	総事業期間	H21-R1		
R1 度事業額	25,186,985	国補助額	20,148,000	県補助額	3,777,000
事業内容	平成 21 年度に先行取得した史跡地（7,775 m ² ）の経費償還				

事業者	明和町	事業名	史 齋宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	213,7,000	総事業期間	R1-10		
R1 度事業額	572,292	国補助額	457,000	県補助額	85,000
事業内容	平成 30 年度に先行取得した史跡地（8,713 m ² ）の経費償還				

事業者	伊勢市	事業名	史 旧豊宮崎文庫 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	9,397,734	総事業期間	R1		
R1 度事業額	9,397,734	国補助額	7,516,000	県補助額	555,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				

事業者	（公財）諸戸財団	事業名	名 諸戸氏庭園 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	704,985,000	総事業期間	H20-R6
R1 度事業額	37,520,760	国補助額	18,760,000	県補助額	3,522,000
事業内容	実施設計及び設計監理業務、藤茶屋・雪隠保存修理設計及び修理工事、祭車庫調査設計、流れ底・州浜補修工事及び測量、延段不陸調整工事、修復剪定整備工事				
備考	指導委員：尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、近藤久郎（桑名市教育委員会教育長）、 菅原洋一（三重大学名誉教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）、 麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、花里利一（三重大学教授） 指導委員会：令和元年 7 月 3 日、10 月 21 日、令和 2 年 2 月 6 日 業務委託：（株）環境事業計画研究所、（株）林廣伸建築事務所、（株）文化財サービス 工事請負：（株）アイチケン、（株）三重造園				

事業者	菰野町	事業名	天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 天然記念物緊急調査		
総事業費	3,707,000	総事業期間	R1-R3		
R1 度事業額	3,707,000	国補助額	1,729,000	県補助額	—
事業内容	指定地内のシデコブシ及び湿地植物群落等の現状把握を目的に現地調査を行った。				
備考	業務委託：パシフィックコンサルタンツ株式会社 三重事務所				

事業者	大台町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	910,785,000	総事業期間	S56-		
R1度事業額	3,773,000	国補助額	2,493,000	県補助額	436,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。2カ所 柵総延長 1,359.395m				
備考	請負：宮川森林組合				

事業者	紀北町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	379,985,940	総事業期間	S58-		
R1度事業額	1,468,100	国補助額	978,000	県補助額	171,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。1カ所 柵総延長 469m				
備考	請負：森林組合おわせ				

事業者	いなべ市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	32,465,500	総事業期間	H18-		
R1度事業額	2,000,500	国補助額	1,000,000	県補助額	140,000
事業内容	員弁川水系のネコギギ個体群再生のため、生息状況調査ならびに保護増殖を行う。R1度は市内の生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び方再導入を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、田代喬（名古屋大学准教授）、里中知之（志摩マリンランド館長） 指導委員会：令和元年7月29日、令和元年11月25日、令和2年2月3日 飼育増殖委託：志摩マリンランド、滋賀県立琵琶湖博物館				

事業者	亀山市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	12,475,604	総事業期間	H27-R5		
R1度事業額	2,238,094	国補助額	1,100,000	県補助額	154,000
事業内容	鈴鹿川水系のネコギギ生息状況把握を続けながら、地域住民への普及啓発を行い、生息環境の再生につなげていく。R1度は鈴鹿川水系のモニタリング及び河川環境調査を実施した。また、保護増殖・飼育及び再放流を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授） 北村淳一（三重県総合博物館）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：令和元年10月7日、令和2年2月4日 生息調査委託：環境科学大阪株式会社 河川環境調査委託：環境科学大阪株式会社				

事業者	名張市	事業名	特天 オオサンショウウオ 天然記念物緊急調査		
総事業費	31,681,809	総事業期間	H25-R4		
R1度事業額	2,830,809	国補助額	1,415,000	県補助額	198,000
事業内容	赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査と DNA サンプルング調査を行った。また保護池で交雑種と確認された個体の一時飼育を行った。				
備考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員）、岡田純（日本ハンザキ研究所長）、江川紫（日本サンショウウオセンター職員）、松月茂明 指導委員会：令和元年10月21日、令和2年2月5日 生息調査・保護飼育委託：三重自然誌の会、NPO法人 赤目四十八滝溪谷保勝会 名張市文化遺産活性化実行委員会				

(6) 埋蔵文化財

事業者	鈴鹿市	事業名	市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	182,460,000	総事業期間	H24-R8		
R1度事業額	8,460,000	国補助額	4,230,000	県補助額	987,000
事業内容	長者屋敷遺跡第38次発掘調査、磐城山遺跡第12・13次発掘調査ほか：計7件、市内遺跡の確認調査：21件、伊勢国府跡22報告書作成・刊行、自然科学分析（1件）				
備考	指導委員：小澤 毅（三重大学教授）、石田由紀子（奈良文化財研究所主任研究員）、金田章裕（京大名誉教授）、渡辺 寛（皇學館大学名誉教授）、和田勝彦（文化財虫害研究所常務理事） 自然科学分析委託：株式会社パレオ・ラボ				

事業者	亀山市	事業名	市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	29,966,000	総事業期間	H27-R10		
R1度事業額	2,597,994	国補助額	1,263,000	県補助額	—
事業内容	鈴鹿関跡発掘調査（2件）、鈴鹿関跡測量調査				
備考	指導委員：小澤 毅（三重大学教授）、館野和己（奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所 古代学・聖地学研究センター特任教授）、門井直哉（福井大学教育学部教授）、木崎嘉秋（亀山市文化財保護審議会委員）				

事業者	津市	事業名	市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	218,152,000	総事業期間	H8-R6		
R1度事業額	3,827,877	国補助額	1,913,000	県補助額	446,000
事業内容	多気北畠氏遺跡第38次（金国寺跡第2次）発掘調査、H30年度市内遺跡試掘・確認調査報告書作成・刊行、市内遺跡の確認調査（6件）、市内遺跡出土遺物保存処理（13点）				
備考	指導委員：岡野友彦（皇學館大学教授）、金田章裕（京大名誉教授）、服部英雄（九州大学名誉教授）、藤澤良祐（愛知学院大学教授）、増淵 徹（京都橘大学教授）、小澤 毅（三重大学教授）、渡辺 寛（皇學館大学名誉教授） 保存処理委託：株式会社 吉田生物研究所、公益財団法人元興寺文化財研究所				

事業者	松阪市	事業名	史 市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	93,968,000	総事業期間	H12-R8		
R1度事業額	5,266,000	国補助額	2,633,000	県補助額	304,000
事業内容	市内重要遺跡の確認調査（8件）、南山遺跡出土金属製遺物2点の保存処理				
備考	保存処理委託：一般財団法人大阪市文化財協会				

事業者	明和町	事業名	史 町内遺跡 発掘調査等		
総事業費	194,562,000	総事業期間	S54-R17		
R1度事業額	2,363,133	国補助額	1,114,000	県補助額	259,000
事業内容	町内遺跡の確認調査（6件）、史跡斎宮跡平成30年度現状変更緊急発掘調査報告刊行				
備考					

事業者	志摩市	事業名	市内遺跡 発掘調査等		
総事業費	43,103,000	総事業期間	H22-R5		
R1度事業額	4,230,481	国補助額	2,115,000	県補助額	493,000
事業内容	泊古墳・鳶ヶ巣1号墳発掘調査、泊古墳・鳶ヶ巣1号墳地形測量（6,000㎡）、市内遺跡詳細分布調査、志摩市遺跡地図刊行				
備考					

（7）重要伝統的建造物群保存地区

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化		
総事業費	1,356,005,000	総事業期間	S60-		
R1度事業額	28,802,413	国補助額	14,400,000	県補助額	2,016,000
事業内容	伝建地区内の建物修理4件・修景2件に関する設計、伝建地区内の建物修理3件・修景2件に関する監理、及び間接補助				
備考	設計監理委託：田上設計、中浦建築事務所、デザインファクトリープラグ、(株)ARTS				

（8）指定文化財管理事業による間接補助

事業者	個人	事業名	重文 町井家住宅主屋・書院 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	211,800	総事業期間	H27-R6
R1度事業額	211,800	国補助額	37,000	県補助額	37,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火栓、避雷針等）の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン(株)中部支社				

事業者	宗教学法人 慈恩寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来立像 防災設備保守点検		
所在市町	亀山市	総事業費	54,300	総事業期間	H28-R7
R1度事業額	54,300	国補助額	13,000	県補助額	14,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火設備（加圧式））の保守点検				
備考	施工業者：総合防災ナカテック、（有）大森電気工業所				

事業者	宗教学法人 大村神社	事業名	重文 大村神社宝殿 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	306,900	総事業期間	R1
R1度事業額	306,900	国補助額	76,000	県補助額	77,000
事業内容	漏水の見られる消火ポンプの部品交換等、ガスケット等交換				
備考	施工業者：榛原防災センター				

事業者	合同会社 苗秀社	事業名	重文 旧松坂御城番長屋 小修理		
所在市町	松阪市	総事業費	788,400	総事業期間	R1
R1度事業額	788,400	国補助額	142,000	県補助額	141,000
事業内容	東棟、西棟の南妻壁に保護塗装を実施。東棟1戸の戸箱等を修理				
備考	施工業者：伊藤建設（株）				

2 県費補助事業

(1) 建造物

事業者	宗教学法人 春日神社	事業名	春日神社拜殿 保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	266,508,296	総事業期間	H28-R4
R1度事業額	42,850,000	国補助額	-	県補助額	21,425,000
事業内容	部材補修・購入、耐震補強の検討				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、黒田龍二（神戸大学教授）、花里利一（三重大学教授） 修理指導委員会：令和元年10月18日 設計監理：（株）継承社、工事請負：（株）奥谷組				

事業者	宗教学法人 杉谷神社	事業名	杉谷神社本殿 保存修理		
所在市町	名張市	総事業費	11,944,800	総事業期間	R1-4
R1度事業額	3,000,360	国補助額	-	県補助額	1,500,000
事業内容	現況調査及び実測図作成。身舎正面・側面の彩色調査・トレース・顔料分析解				
備考	調査指導：黒田龍二（神戸大学教授）、林良彦（奈良文化財研究所客員研究員） 指導日：令和2年3月17日 現況調査：（株）継承社、彩色調査：（有）彩色設計				

事業者	宗教法人 石薬師寺	事業名	石薬師寺薬師堂 保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	230,040	総事業期間	R1
R1度事業額	230,040	国補助額	-	県補助額	115,000
事業内容	平成30年度の台風21号により毀損した向拝屋根瓦の修理				
備考	工事請負：(有)山三瓦工業				

事業者	宗教法人 春日神社	事業名	県有 春日神社拝殿 危険木伐採		
所在市町	伊賀市	総事業費	1,255,000	総事業期間	R1
R1度事業額	1,255,000	国補助額	-	県補助額	627,000
事業内容	危険木の伐採				
備考	工事請負：(株)奥谷組				

事業者	宗教法人 猪田神社	事業名	県有 猪田神社本殿 危険木伐採		
所在市町	伊賀市	総事業費	460,000	総事業期間	R1
R1度事業額	460,000	国補助額	-	県補助額	230,000
事業内容	危険木の伐採				
備考	工事請負：(株)森田クレーン				

(2) 美術工芸品

事業者	顕正寺	事業名	木造阿弥陀如来坐像 保存修理		
所在市町	四日市市	総事業費	2,277,000	総事業期間	R1
R1度事業額	2,277,000	国補助額	-	県補助額	1,138,000
事業内容	解体修理、漆箔の剥離・剥落どめ等、台座新調				
備考	修理指導：伊東史朗（和歌山県立博物館館長）、松岡久美子（近畿大学准教授） 修理日：令和元年5月27日、令和元年6月5日、令和元年12月6日 請負：愛知仏像修復工房				

事業者	菅原神社	事業名	木造天神坐像 防災設備		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	486,000	総事業期間	R1
R1度事業額	486,000	国補助額	-	県補助額	243,000
事業内容	ドームカメラ（屋外1台）、レコーダー、サイレン付LED人感ライト、モニタの設置				
備考	工事請負：ALSOK 三重総合警備保障株式会社				

(3) 民俗文化財

事業者	南河路自治会	事業名	県有民 紙本著色 那智参詣曼荼羅 保存修理		
所在市町	津市	総事業費	1,193,790	総事業期間	R1
R1度事業額	1,193,790	国補助額	-	県補助額	596,000
事業内容	経年劣化による折れや亀裂の修復及び汚れやシミの除去、保存用桐箱の作成				
備考	修理指導：山口泰弘（三重大学教授） 指導日：令和元年7月12日 請負：ナカシャクリエイテブ株式会社				

事業者	宮古区	事業名	県有民 宮古の石風呂 保存修理		
所在市町	玉城町	総事業費	451,000	総事業期間	R1
R1度事業額	451,000	国補助額	-	県補助額	225,000
事業内容	崩落した石風呂のかまどの復旧・修理				
備考	請負：有限会社 都設備				

(4) 記念物

事業者	宗教法人 伊奈富神社	事業名	名 伊奈富神社庭園 保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	5,984,000	総事業期間	H27-R4
R1度事業額	1,000,000	国補助額	-	県補助額	500,000
事業内容	庭園内の池及び島の修復、危険木・支障木の伐採を行った。				
備考	指導委員：中島義晴（奈良文化財研究所）、中村昌幸（樹木医）、衣斐弘行（鈴鹿市文化財調査会） 指導委員会：令和元年7月8日、11月6日 工事請負：木楽 Nakamura				

事業者	玉城町	事業名	史 田丸城跡 保存修理		
所在市町	玉城町	総事業費	137,980,000	総事業期間	H29-R4
R1度事業額	11,174,000	国補助額	-	県補助額	4,280,000
事業内容	仮設道路建設、石垣解体工事				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学名誉教授）、小澤毅（三重大学教授）、岩崎澄雄（郷土史）、 北垣聡一郎（金沢城調査研究所名誉所長）、千田嘉博（奈良大学教授） 指導委員会：令和元年12月18日 工事請負：(株)桜井組（仮設道路）、中村石材(株)（石垣解体）				

事業者	立田地区委員会	事業名	天 篠立の風穴 環境整備		
所在市町	いなべ市	総事業費	154,980	総事業期間	R1
R1度事業額	154,980	国補助額	-	県補助額	77,000
事業内容	平成30年度の台風による増水で破損・消失した階段の修繕を行った。				
備考	工事請負：佐藤建築				

3 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業について推薦を行い、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市町	助成額	事業内容
(公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団	五ヶ所浦区	南伊勢町	450,000	袴と弓矢の新調
(公財) 文化財保護・芸術研究助成財団	南河路自治会	津市	250,000	紙本著色那智参詣曼荼羅の修理

IV 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類

審査日：令和元年5月14日、7月9日、9月24日、12月3日、令和2年2月18日

実施場所：県庁舎会議室（津市桜橋）

審査委員：

- 早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）
- 福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）
- 東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 中西 勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
- 河村 肇（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	277件	18件	295件
登録証再交付数	31件	1件	32件
製作承認件数	1件	—	1件
所有者変更数	775件	72件	847件
登録証返納数 (輸出返納含む)	96件	2件	98件

(2) 天然記念物 紀州犬

審査日：令和元年5月26日

実施場所：三重県埋蔵文化財センター嬉野分室（三重県松阪市嬉野川北町501）

審査員：木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・同三重県支部顧問）

森本鉄男（社団法人日本犬保存会審査補助員・同三重支部会員）

尾上紀彦（社団法人日本犬保存会審査補助員・同三重県支部支部長）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
835	楓華	雌	R1.6.3	津市
836	貴春女	雌	R1.6.3	松阪市
837	鈴鹿乃奈緒	雌	R1.6.3	四日市市
838	伊勢の陸王	雄	R1.6.3	伊賀市
839	桃	雌	R1.6.3	鈴鹿市
840	伯耆乃峰女	雌	R1.6.3	紀北町
841	下野乃茜姫	雌	R1.6.3	松阪市
842	龍山	雄	R1.6.3	松阪市



(3) 天然記念物 日本鶏

審査日：令和元年6月9日

実施場所：三重県埋蔵文化財センター嬉野分室（三重県松阪市嬉野川北町501）

審査員：

- 富田靖男（元三重県立博物館長）
- 西川祥一（日本家禽会三重県支部長、天然記念物三重県五鶏保存会会長）
- 佐々木健二（三重県農林水産部畜産課）

登録番号	鶏種	内種	性別	登録日	所有者住所
1014	小国鶏	白色種	番	R1.7.1	玉城町
1015	小国鶏	白藤種	番	R1.7.1	津市
1016	烏骨鶏	白色種	番	R1.7.1	津市
1017	烏骨鶏	白色種	雌	R1.7.1	津市
1018	地鶏	狸々種	雌	R1.7.1	津市

2 文化財の管理

(1) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者との打ち合わせ及び協議を実施した。

回	日時	開催場所	内容
第1回	5月10日(金) 13:00~17:00	県松阪庁舎	令和元年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する手続き等
第2回	11月27日(水) 9:30~12:00	三重県総合博物館	事業の現状と課題、文化財保存活用大綱の策定について、文化財の防犯・防火対策について等

② 三重県文化財保護指導委員会

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
北勢・中勢・南勢・志摩・伊賀	5月10日(金) 10:00~12:00	県松阪庁舎	平成31年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する事務手続き等、文化財パトロールの実施
尾鷲・熊野	5月21日(火) 13:30~15:30	県尾鷲庁舎	

③ オオサンショウウオ保護連絡会議

コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

④ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日 時	令和2年2月26日(水) 13:30~17:00	場 所	三重県四日市庁舎本館6階大会議室
講 演	「環境DNA分析技術の動向について」 パシフィックコンサルタンツ株式会社 環境マネジメント部 交通環境室 技術主任 渡部 健 氏		
事 例 報 告	○現状変更等事例報告 鈴鹿建設事務所、津建設事務所、松阪建設事務所、伊勢建設事務所 東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所、中日本高速道路株式会社 ○いなべ市ネコギギ再生事業について いなべ市教育委員会事務局 生涯学習課 ○亀山市ネコギギ再生事業について 亀山市生活文化部文化スポーツ課まちなみ文化財グループ		
助 言 者	森誠一(岐阜協立大学院教授)、渡辺勝敏(京都大学大学院准教授)、 田代喬(名古屋大学減災連携研究センター准教授)		

⑤ オオダイガハラサンショウウオ学習会

雨天により中止。



(2) 文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員（50名）を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	大城哲也	建造物		
	清水善吉・山野直也・中野環	天然記念物		
北勢	時田英彦・久安典之・中浦豊子	建造物	桑名市	7
			いなべ市	2
			木曽岬町	0
	松本覚・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	東員町	0
			四日市市	6
			菰野町	3
			朝日町	1
	市川正人・桐生定巳	天然記念物	川越町	0
			鈴鹿市	12
			亀山市	6
中勢	大森尚子・宮本公夫	建造物	津市	13
	瀧川和也・藤田直信	彫刻	松阪市	8
	浅生悦生・林和範・木野本和之・西田尚史・増田安生・奥義次・縣拓也	埋蔵文化財	多気町	2
			明和町	1
西川浩之・中優・高松隆吉・杉澤学	天然記念物	大台町	0	
南勢	松月久和・東原達也	建造物	伊勢市	5
	藤田直信	彫刻	鳥羽市	10
	奥義次・縣拓也・村上喜雄・山本達也・北畠充生	埋蔵文化財	玉城町	0
			度会町	2
			南伊勢町	3
	中優	天然記念物	大紀町	8
志摩市			2	
伊賀	滝井利彰・岩見勝由	建造物	伊賀市	20
	寺岡光三・大花健生・谷戸実	埋蔵文化財	名張市	3
	杉澤学	天然記念物		
東紀州	宮原良雄	建造物	尾鷲市	19
	福村直昭	建造物・彫刻	紀北町	46
	家崎彰・福村直人	埋蔵文化財	熊野市	70
	山本和彦・更屋好年	天然記念物	御浜町	14
	高須清教・中野順一・植松元夫・東公夫・清水鎮一・向井弘晏・西山光雄	熊野参詣道	紀宝町	1

(3) 発掘調査届等

	92条	93条											94条											99条	合計				
		道路	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	農業関係	その他開発	計	道路	河川	港湾・ダム	学校	住居	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等			農業基盤・農業関係	その他開発	遺跡整備	計
木曽岬町														0													0	0	0
いなべ市			2	14	1			1		18			9	45	1						2		1		1		5	0	50
東員町				1		1		1		5			1	9				2									2	0	11
桑名市			4	32	1		1	3	3	30			7	81	3							13		3		19	6	106	
川越町														0													0	0	0
朝日町										1				1													0	0	1
菰野町							1							1													0	0	1
四日市市			10	39	4	1	1	4	7	31		1	14	112	4							13		1		18	2	132	
鈴鹿市			5	47		2		5	2	19		8	41	129	3	1					2	1		4		11	9	149	
亀山市			2	48	1			3	2	13			7	76						1		3		1		5	0	81	
津市			4	30		1	1	14	3	74		1	59	187	14	1					1	49	1	7		73	2	262	
松阪市			1	104		4		8	6	127	1		16	267							4	13		7		24	3	294	
明和町			5	23					2				14	44													0	8	52
多気町				1						9			8	18													0	0	18
玉城町			1	4					2	7		1	1	16	1									1		2	0	18	
大台町										4				4	1						1					2	0	6	
度会町				1						4			2	7	1											1	1	9	
伊勢市			3	24					2	25			2	56								1				1	0	57	
鳥羽市														0													0	0	0
志摩市			1	2		1		1		15			5	25								1				1	1	27	
南伊勢町														0													0	0	0
大紀町										5		1		6	1											1	0	7	
紀北町														0													0	0	0
尾鷲市										1				1													0	0	1
熊野市				1				1					7	9													0	0	9
御浜町														0													0	0	0
紀宝町				1									1	2								1				1	0	3	
伊賀市			5	6	2	1		7			1		11	33			1									1	0	34	
名張市								2		2				4													0	0	4
三重県														0	16			4			3	1	13	11		48	6	54	
国・大学	1													0													0	0	1
計	1	0	43	378	9	11	3	49	31	0	390	2	12	205	1133	45	2	1	6	0	14	0	97	14	36	0	215	38	1387

(4) 埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
土師器、陶磁器	1	多気郡明和町大字竹川字花園、字祓戸 地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H31.4.3	H31.4.9
土師器、陶磁器	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉 3399番1、3399番3	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H31.4.3	H31.4.9
土師器、陶器	1	多気郡明和町大字竹川字花園 659-7	史跡斎宮跡	三重県	明松ホーム株式会社	斎宮歴史博物館	H31.4.3	H31.4.9
常滑甕、陶器、土師器	2	松阪市飯高町栗野	中道遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H31.4.19	H31.4.23
土師器、須恵器、瓦	1	松阪市山下町字上山	上山古墳群	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	R1.5.24	R1.5.27
土師器、須恵器、土製品、鉄製品	18	多気郡明和町大字斎宮字楽殿 2889-3	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R1.7.17	R1.7.24
縄文土器、石器	2	いなべ市北勢町向平字四辻	四辻遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R1.7.29	R1.7.31
土器・陶器・瓦	3	度会郡度会町棚橋	蓮華寺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R1.7.30	R1.8.5
土師器、須恵器、山茶碗	1	鈴鹿市南長太町	大木ノ輪遺跡	三重県	鈴鹿市長	三重県埋蔵文化財センター	R1.10.16	R1.10.21
土師器	1	度会郡玉城町勝田字鉄砲塚	鉄砲塚遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	R1.10.21	R1.10.28
山茶碗、土師器、陶器	1	亀山市安坂山町	仲屋敷遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R1.11.29	R1.12.4
縄文土器、弥生土器、石器	61	いなべ市北勢町塩崎字空畑地内	空畑遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R1.12.13	R1.12.17
弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、土製品、鉄製品、銭貨	14	多気郡明和町大字竹川字祓戸 700、703、704	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R1.12.13	R1.12.19
土師器、須恵器、緑釉陶器、焼土塊	5	多気郡明和町大字斎宮字篠林 3176-3	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R1.12.13	R1.12.19
土師器、須恵器、緑釉陶器、中世陶器、土製品	5	多気郡明和町大字斎宮字木葉山 95番地9	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R1.12.13	R1.12.19
瓦等	5	熊野市有馬町	後呂地遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R1.12.23	R1.12.26
陶器等	1	熊野市有馬町	ハサマ遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R1.12.23	R1.12.26
土師器、須恵器、陶器、土製品、鉄製品、銭貨	3	多気郡明和町大字斎宮字中西 2752	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	R2.1.21	R2.1.24
土師器・陶器・金属製品・漆器	14	津市安濃町内多	柳垣内遺跡	三重県	津市長	三重県埋蔵文化財センター	R2.1.23	R2.1.28
縄文土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、金属製品等	84	南牟婁郡紀宝町鶺鴒殿	鶺鴒殿西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	R2.1.29	R2.1.31
土師器・土馬・須恵器・山茶碗・陶器等	8	多気郡明和町大字池村	樋口遺跡・西村遺跡	三重県	明和町長	三重県埋蔵文化財センター	R2.3.11	R2.3.13

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
弥生土器・土師器・山茶碗・磁器	2	度会郡玉城町佐田	寺田遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	R2.3.11	R2.3.13
土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦質土器、硯、瓦、土製品	4	多気郡明和町大字斎宮字西加座、東加座、東前沖地内(道路、水路)	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	R2.3.10	R2.3.13
土師器・須恵器・山茶碗・陶器・磁器・瓦	3	多気郡明和町上野字曾祢崎、多気郡明和町平尾	曾祢崎遺跡・鱗尾城跡・平尾遺跡	三重県	明和町長	三重県埋蔵文化財センター	R2.3.23	R2.3.24
土師器、須恵器、弥生土器、山茶碗	38	度会郡玉城町小社曾根	小社遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	R2.3.23	R2.3.26
土師器・陶器・磁器・瓦・木製品	17	松阪市本町	松坂城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	R2.3.27	R2.3.30

(5) 埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
伊勢国府跡(長者屋敷遺跡第37次)発掘調査 出土遺物 丸瓦 平瓦 押印平瓦	11	鈴鹿市広瀬町978番2	伊勢国府跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H31.3.12	H31.4.4	三重県教育委員会
国分東遺跡(第4次)発掘調査 出土遺物 瓦・緑釉陶器・山茶碗	1	鈴鹿市国分町地内	国分東遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H31.3.13	H31.4.4	三重県教育委員会
川向山添遺跡 出土遺物 土師器・須恵器・陶器など	18	四日市市西坂部町字山添	川向山添遺跡	四日市市教育長	国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所長	四日市市教育委員会 社会教育課 文化財整理作業所	H31.3.19	H31.4.9	三重県教育委員会
江田川遺跡 出土遺物 土師器・須恵器・陶器など	3	四日市市西坂部町字山添	江田川遺跡	四日市市教育長	国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所長	四日市市教育委員会 社会教育課 文化財整理作業所	H31.3.19	H31.4.9	三重県教育委員会
市場山遺跡 出土遺物 土師器、土錘	1	津市河芸町上野621-1、622-1、626-1、627-1	市場山遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H31.3.29	H31.4.15	三重県教育委員会
磐城山遺跡第11次出土遺物 弥生土器 土師器 須恵器 山茶碗 石器	68	鈴鹿市木田町2280, 2281, 2282, 2283-1, 2284-1	磐城山遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H31.3.29	R1.5.13	三重県教育委員会
須賀遺跡(第11次)発掘調査 出土遺物 弥生土器・石器・土師器・須恵器・常滑焼・山茶碗	2	鈴鹿市若松西二丁目276番1、279番1	須賀遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H31.4.22	R1.5.28	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
宮ノ前遺跡(第5次)発掘調査 出土遺物 土師器・須恵器・陶器・木片	2	四日市市西坂部町字山添 2454-1	宮ノ前遺跡	四日市市教育長	個人	四日市市教育委員会 社会教育課 文化財整理作業所	R1.6.5	R1.7.8	三重県教育委員会
土師南方遺跡立会い調査 出土遺物 土師器・須恵器	1	鈴鹿市若松西二丁目 276 番 1、279 番 1	土師南方遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.6.5	R1.7.8	三重県教育委員会
江田川遺跡出土遺物 土師器・須恵器・陶器など	15	四日市市西坂部町字山添 2454-1	江田川遺跡	四日市市教育長	個人	四日市市教育委員会 社会教育課 文化財整理作業所	R1.6.26	R1.7.8	三重県教育委員会
南浦遺跡 立会い調査 出土遺物 平瓦	1	鈴鹿市国分町 1390 番	南浦遺跡	鈴鹿市長	三井鐵工株式会社	鈴鹿市考古博物館	R1.6.25	R1.7.18	三重県教育委員会
沢城跡第4次出土遺物 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、瓦、陶丸、鉄製品	6	鈴鹿市飯野寺家町字城掛 320-5	沢城跡第	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.6.27	R1.7.23	三重県教育委員会
高井A遺跡範囲確認調査 出土遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、丸瓦、近世陶器、近世瓦、木片	1	鈴鹿市御園町 5303 番	高井A遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R1.6.25	R1.7.23	三重県教育委員会
一ノ谷遺跡出土遺物 土師器・陶器	1	度会郡度会町 田間字弦間 261	一ノ谷遺跡	度会町教育委員会教育長	(株)BTホールディング	度会町ふるさと歴史館	R1.7.19	R1.7.30	三重県教育委員会
鳳凰寺跡出土遺物 瓦、土師器片、須恵器片	1	伊賀市鳳凰寺 字轟 259 番 2	鳳凰寺跡	伊賀市教育委員会教育長職務代理者	個人	伊賀市教育委員会	R1.7.4	R1.8.5	三重県教育委員会
須賀遺跡 第10次出土遺物 弥生土器 土師器 須恵器 瓦 陶器 土馬 土錘 斎串 砥石	29	鈴鹿市須賀一丁目 1695	須賀遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.8.8	R1.8.27	三重県教育委員会
長者屋敷遺跡(第38次)発掘調査 出土遺物 縄文土器・石鏃・須恵器・土師器・平瓦・陶器	8	鈴鹿市西富田町 1322・1323・1324 番	長者屋敷遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.9.26	R1.10.29	三重県教育委員会
高井A遺跡範囲確認調査 出土遺物 土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・平瓦・白磁・土錘・近世陶器	1	鈴鹿市御園町 5304・5305・5306 番	高井A遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R1.10.15	R1.11.14	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
専修寺境内遺跡(第2次) 出土遺物 土師器、陶磁器、瓦、銭貨	143	津市一身田町2819番	専修寺境内遺跡	津市教育委員会教育長	専修寺	津市埋蔵文化財センター	R1.12.3	R1.12.24	三重県教育委員会
殿村大垣内遺跡(R1-1次) 出土遺物 土師器、須恵器	1	津市殿村1451、1452、1454	殿村大垣内遺跡	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	R1.12.3	R1.12.24	三重県教育委員会
寺山遺跡 第9次 出土遺物 土師器、須恵器、瓦、埴輪	3	鈴鹿市高岡町字寺山1762番1、1763番	寺山遺跡	鈴鹿市長	株式会社エムエムテクノ	鈴鹿市考古博物館	R1.12.16	R2.1.15	三重県教育委員会
保子里遺跡範囲確認調査 出土遺物 土師器・陶器(常滑焼)	1	鈴鹿市国府町字保子里97、98-4、138-1	保子里遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.12.23	R2.1.15	三重県教育委員会
加佐登遺跡範囲確認調査 出土遺物 土師器	1	鈴鹿市加佐登二丁目2536番4、2536番5	加佐登遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.12.23	R2.1.15	三重県教育委員会
国分東遺跡(第5次)発掘調査 出土遺物 土師器・須恵器・山茶碗・陶器(古瀬戸・常滑焼)	1	鈴鹿市国分町地内	国分東遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	R1.12.23	R2.1.15	三重県教育委員会
磐城山遺跡(第12次)発掘調査 出土遺物 弥生土器・土師器・須恵器 白磁・砥石・石鏃	16	鈴鹿市木田町2283-1、2284-1	磐城山遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	R1.12.23	R2.1.20	三重県教育委員会
中須遺跡(R1-1次) 出土遺物 土師器、須恵器、陶器、土錘	1	津市河芸町上野字中須974-1(ほか51筆)	中須遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	R2.1.20	R2.1.30	三重県教育委員会
蔵田遺跡(R1-1次) 出土遺物 土師器、須恵器、陶器	1	津市納所町字蔵田676-1(ほか22筆)	蔵田遺跡	津市教育委員会教育長	医療法人 暁純会(ほか)	津市埋蔵文化財センター	R2.1.20	R2.1.30	三重県教育委員会
津城跡(R1-6次) 出土遺物 土師器、陶磁器、瓦	1	津市丸之内養正町1-1	津城跡	津市教育委員会教育長	三重弁護士会	津市埋蔵文化財センター	R2.1.31	R2.2.7	三重県教育委員会
川併神社南方遺跡(R1-2次) 出土遺物 土師器	1	津市久居元町2078番地	川併神社南方遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	R2.1.20	R2.2.17	三重県教育委員会
多気北畠氏遺跡第38次(金国寺跡第2次) 出土遺物 土師器 陶磁器 瓦	14	津市美杉町下多気2172 2173 2174 2175 2185 2186	多気北畠氏遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	R2.1.24	R2.2.17	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
宮ヶ平B遺跡 出土遺物 山茶碗等	1	桑名市多度町古野地内	宮ヶ平B遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.27	三重県教育委員会
五反田貝戸遺跡 出土遺物 土師器、陶器等	1	桑名市大字芳ヶ崎656他	五反田貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
能部北貝戸遺跡 出土遺物 陶器等	1	桑名市大字能部430-1他	能部北貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
長島城下町遺跡 出土遺物 陶器、磁器、瓦等	1	桑名市長島町松ヶ島字北島156番	長島城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	稲荷安岐波神社	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 瓦、磁器、ガラス製品等	1	桑名市新屋敷83番、84番	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名市城下町遺跡 出土遺物 陶器、磁器、瓦等	1	桑名市新屋敷140番地、141番地	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
東方城下遺跡 出土遺物 土師器、須恵器、瓦等	16	桑名市大字東方字城下1308-1、1308-2、1342、1350	東方城下遺跡	桑名市教育委員会教育長	宗教法人照源寺	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
勢以口遺跡 出土遺物 陶器、磁器等	1	桑名市大字江場字勢以口118番20他2筆	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.27	三重県教育委員会
桑名城跡 出土遺物 瓦等	1	桑名市元赤須賀7番1	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 瓦、磁器等	1	桑名市伊賀町125番、桑名市大字地藏字新甫田2番18	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市長	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 瓦、陶器、磁器等	103	桑名市伝馬町5番、4番50	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 瓦、磁器等	1	桑名市外堀92番	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 磁器等	1	桑名市内堀155-2	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	デイリーパトリック ジェロム	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
長島城下町遺跡 出土遺物 磁器、瓦等	1	桑名市長島町字下町1-1他2筆	長島城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会
天王平遺跡 出土遺物 土師器、須恵器等	1	桑名市多度町小山字天王平2375番1	天王平遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
天王平遺跡 出土遺物 土師器、 須恵器等	1	桑名市多度町 小山天王平 2 5 9 1 - 1	天王平遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教 育委員会
江場貝戸遺跡 出土遺物 土師器、 陶器等	1	桑名市大字江 場字長折 4 5 6 番 3	江場貝戸遺 跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教 育委員会
長島城下町遺跡 出土遺物 陶器等	1	桑名市長島町 又木字元薬師 5 7 3 番	長島城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.1.24	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 陶器、方 ろ製品等	1	桑名市伝馬町 7 9 番、8 0 番	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 陶器、磁 器、瓦等	1	桑名市吉津屋 町 2 7 番	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 磁器、陶 器等	1	桑名市鍛冶町 3 番 4	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
天王平遺跡 出土遺物 土師器、 須恵器等	1	桑名市多度町 小山字天王平 2 4 1 0 番 1	天王平遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 磁器、方 ろ製品等	1	桑名市内堀 9 7、9 8	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
勢以口遺跡 出土遺物 山茶碗、 陶器等	1	桑名市大字江 場字勢以口 1 0 4 番、1 1 4 番、1 1 5 番	勢以口遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 瓦等	1	桑名市宮町 1 0 番地先	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
江場貝戸遺跡 出土遺物 土師器等	1	桑名市大字大 福字中野 4 9 9 番	江場貝戸遺 跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.2	R2.3.24	三重県教 育委員会
桑名城跡 出土遺物 瓦	1	桑名市吉之丸 5 番 1 地先	桑名城跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
若田縄遺跡 出土遺物 磁器	1	桑名市大字小 貝須字八反田 1 9 7 6 番、 1 9 7 6 番 1、1 9 7 6 番 2、1 9 7 6 番 3	若田縄遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑部西貝戸遺跡 出土遺物 磁器	1	桑名市大字桑 部字中貝戸 6 2 6 番	桑部西貝戸 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑部西貝戸遺跡 出土遺物 磁器	1	桑名市桑部 6 2 5 番地先	桑部西貝戸 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
桑名城下町遺跡 出土遺物 磁器	1	桑名市元赤須 賀77番5、 77番6	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 陶器、磁 器、瓦等	1	桑名市船馬町 58番地先	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 陶器	1	桑名市船馬町 20番1地先	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑名城跡 出土遺物 瓦	1	桑名市三之丸 50番地先	桑名城跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
下野代遺跡 出土遺物 山茶碗、 木製品、磁器等	1	桑名市大字下 野代782番 3	下野代遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	桑名市長	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 陶器、磁 器、瓦等	4	桑名市内堀6 7番、68番 の各一部	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会
桑名城下町遺跡 出土遺物 磁器、陶 器	1	桑名市職人町 28番	桑名城下町 遺跡	桑名市教育 委員会教育 長	個人	桑名市教育委 員会	R2.3.11	R2.3.26	三重県教 育委員会

(6) 出土文化財の譲与

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
H31.4.1	亀山市教育委 員会教育長	丸瓦、平瓦、土師器、須恵器、土器 等	132	亀山市関町新所地内	鈴鹿関跡	H29.12.22
H31.4.4	鈴鹿市長	土師器、陶磁器	1	鈴鹿市小岐須町南條1027 番2	小岐須城跡(範囲確認調 査)	H30.6.15
H31.4.4	鈴鹿市長	須恵器、土師器、灰釉陶器、山茶碗、 白磁、青磁、常滑焼、古瀬戸、銅銭、 砥石	14	鈴鹿市岡田一丁目12番 1・2、13番	岡太神社遺跡(第7次)	H30.7.2
H31.4.4	鈴鹿市長	縄文土器	1	鈴鹿市広瀬町1165番、 1166番	長者屋敷遺跡(範囲確認 調査)	H30.6.25
H31.4.4	鈴鹿市長	弥生土器	1	鈴鹿市上野町字西久保 495-1	一反通遺跡(範囲確認調 査)	H30.9.7
R1.6.25	津市教育委員 会教育長	土師器	1	津市一志町片野445-5	片野遺跡(H29-5次②)	H30.6.27
R1.6.28	鈴鹿市長	弥生土器、灰釉陶器、土師器	1	鈴鹿市須賀二丁目1752 番	須賀遺跡(範囲確認調査)	H30.9.18
R1.6.28	鈴鹿市長	土師器、須恵器、瓦、石器、鞆羽口	3	鈴鹿市高岡町1762番1、 1763番	寺山遺跡(第8次調査)	H30.9.20
R1.6.28	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、 陶器(常滑焼)、石器	8	鈴鹿市上野町字西久保 495-1	一反通遺跡(第5次調査)	H30.11.1
R1.6.28	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、瓦、焼土	1	鈴鹿市国府町字中山 4056、4066、4069、 4070、4074	中山遺跡(範囲確認調査)	H30.11.14

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
R1.10.7	鈴鹿市長	弥生土器・磨製石斧・土玉・土師器・須恵器・黒色土器・製塩土器・灰釉陶器・二彩陶器・土錘・木片・平瓦	12	鈴鹿市須賀一丁目 1693 番 7	須賀遺跡（第 9 次調査）	H30.9.18
R1.10.7	鈴鹿市長	縄文土器・磨製石斧・土師器	1	鈴鹿市西富田町 1322 番, 1323 番, 1324 番, 1325 番, 1340 番 1	長者屋敷遺跡（範囲確認調査）	H30.11.28
R1.10.7	鈴鹿市長	弥生土器	3	鈴鹿市上箕田一丁目 2617 番 2	上箕田遺跡（範囲確認調査及び第 9 次発掘調査）	H30.12.4
R1.10.7	鈴鹿市長	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・常滑焼・陶器・金属遺物・木質遺物・石	75	鈴鹿市稻生町地内	大下遺跡（第 1 次調査）	H30.12.25
R1.10.7	鈴鹿市長	土師器・瀬戸美濃・近世陶器・近世磁器・近世瓦・ガラス瓶	1	鈴鹿市稻生西二丁目 9275 ほか（伊奈富神社境内地）	伊奈富神社遺跡（県名勝伊奈富神社庭園）	H31.1.28
R1.12.9	津市教育委員会教育長	陶器、磁器、瓦	1	津市丸之内 19-1	津城跡（H30-6 次）	H30.12.5
R1.12.9	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町浄土寺字コメガイ 575 番 1、588 番 1	ゆふけ遺跡（H30-2 次）、浄土寺南・米買遺跡（H30-1 次）	H31.2.1
R1.12.26	鈴鹿市長	瓦・緑釉陶器・山茶碗	1	鈴鹿市国分町地内	国分東遺跡（第 4 次）発掘調査	H31.3.13
R1.12.26	鈴鹿市長	弥生土器 土師器 須恵器 山茶碗 石器	68	鈴鹿市木田町 2280,2281,2282,2283-1,2284-1	磐城山遺跡第 1 1 次	H31.3.29
R1.12.26	鈴鹿市長	丸瓦 平瓦 押印平瓦	11	鈴鹿市広瀬町 9 7 8 番 2	伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第 3 7 次）発掘調査	H31.3.12
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	陶磁器・瓦 等	6	松阪市嬉野須賀町 須賀城跡	須賀城跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	瓦片・土師器細片・陶磁器細片・ガラス細片 等	45	松阪市殿町	松坂城跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	施釉陶磁器片、土師器片 等	1	松阪市宝塚町	長荘野遺跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	土師器片 等	1	松阪市久保町	草山遺跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	土師器片、須恵器片、中世土師器片、陶磁器片 等	1	松阪市豊原町	倉垣内遺跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	陶磁器片 等	1	松阪市川井町	松坂城下町遺跡	H31.3.1
R2.2.25	松阪市教育委員会教育長	土師器片 等	1	松阪市嬉野釜生田町	天白遺跡	H31.3.1
R2.3.3	玉城町教育委員会教育長	須恵器・土師器等	5	度会郡玉城町宮子 8 9 0	矢塚古墳群	H31.1.24
R2.3.6	松阪市教育委員会教育長	中世土師器片、山茶碗片、陶磁器片、土師器片、瓦片 等	2	松阪市大河内町	大河内城跡	H31.3.1
R2.3.9	度会町教育委員会教育長	土師器・陶器	1	度会郡度会町田間字弦間 2 6 1	一ノ谷遺跡	R1.7.19

3 国・県指定文化財に関する諸届等

平成31年4月1日から令和2年3月31日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合は含んでいない。

(1) 国指定文化財

① 国宝・重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		保存に影響を及ぼす行為	き損	防災施設機能低下	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可							
旧諸戸家住宅	建造物				2		1			3
専修寺 御影堂	建造物						1			1
専修寺(重要文化財)	建造物				1		1			2
旧長谷川家住宅	建造物						1			1
旧松坂御城番長屋	建造物		1				2			3
旧賓日館	建造物				1		2			3
庫蔵寺本堂	建造物				1					1
高倉神社	建造物					1	1			2
町井家住宅	建造物				1					1
木造阿弥陀如来坐像(観音寺)	彫刻								1	1
木造黒漆厨子	工芸品								1	1
太刀 銘吉信 太刀 銘俊忠 太刀 銘次家	工芸品						1			1
合計		0	1	0	6	1	10	0	2	20

② 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
久留倍官衙遺跡	史跡	1				1
伊勢国分寺跡	史跡	1				1
伊勢国府跡	史跡			1		1
松坂城跡	史跡	1		2		3
斎宮跡	史跡	7		20		27
水池土器製作遺跡	史跡			2		2
旧林崎文庫	史跡	1				1
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	史跡			4		4
熊野参詣道 紀伊路 中辺路 大辺路 小辺路 伊勢路 熊野川 七里御浜 花の窟	史跡	1		7	1	9
上野城跡	史跡	1		9		10

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
旧崇広堂	史跡			1		1
御墓山古墳	史跡		1			1
城之越遺跡	名勝・史跡		1			1
旧諸戸氏庭園	名勝		1	1		2
諸戸氏庭園	名勝	7				7
多気北畠氏城館跡	史跡		3			3
北畠氏城館跡庭園	名勝		2			2
二見浦	名勝	1	4	1		6
合計		21	57	4		82

③ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
	国	県・市許可			
カモシカ	1		4		5
オオサンショウウオ	33	7	4		44
ネコギギ	18	16	3		37
ヤマネ	1	6			7
イタセンパラ	1				1
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖		1			1
田光のシデコブシ及び湿地植物群落		2			2
御池沼沢植物群落		1			1
棕本の大棕	1				1
合計	55	33	11		99

(2) 県指定文化財

① 有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
諸戸（宗）家住宅 煉瓦蔵	建造物	2					2
旧小津家住宅	建造物	2		1			3
旧三重県第三尋常中学校校舎	建造物	1	1				2
旧小田小学校本館	建造物		1				1
奥知勇収集古伊賀・古信楽器物類一括 34件	工芸品					1	1
合計		5	2	1	0	1	9

② 民俗文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
八鬼山町石及び関連石仏	有形民俗					2	2
道楽神石塔	有形民俗				1		1
越賀の舞台	有形民俗		1				1
刻限日影石	有形民俗				1		1
大入道山車	有形民俗					1	1
参宮講看板 附たわらや看板	有形民俗					1	1
合計			1		2	4	7

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
		県	市許可				
桑名城跡	史跡	1	1				2
天武天皇迹太川御遥拝所跡	史跡	1				1	2
杉谷遺跡	史跡			1			1
神戸城跡	史跡		3				3
神戸の見附	史跡		2				2
東の追分・西の追分	史跡		1				1
津城跡	史跡		2				2
田丸城跡	史跡	11					11
鍵屋の辻	史跡		1				1
伊奈富神社庭園	名勝	2	2				4
稻生山の躑躅	名勝	2	4				6
宮川堤	名勝	3					3
二見浦	名勝	1					1
合計		21	16	1		1	39

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
	県	市許可				
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1					1
きりしまみどりしじみ	1					1
豊浦神社社叢	1					1
おおだいがはらさんしょううお	3	1				4
奥郷の寒椿「獅子頭」	1					1
ジュロウカンアオイ自生地		1				1
逆柳の甌穴	1					1
鈴島暖地性植物群落	1					1
神内神社樹叢	1					1
野登山のブナ林		1				1
地蔵大マツ			1			1
池ノ谷のモリアオガエル繁殖池					1	1
合計	10	3	1		1	15

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の表彰

○平成 31 年度教育功労者表彰（三重県教育委員会表彰）

学術文化功労 稲本紀昭（元三重県文化財保護審議会委員（津市推薦））

(2) 三重県文化財講習会（第 37 回）

文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資するため、文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として年 1 回、三重県指定文化財等所有者連絡協議会・三重県総合博物館と共催で講習会を行っている。令和元年度は一般の参加者にも公開した。

日 時	令和元年 11 月 27 日（水）	場 所	三重県総合博物館	参 加 者	88 名
テ ー マ	『文化財の防犯・防災』				
内 容	講 演 「仏像を盗難から守るために」大河内 智之（和歌山県立博物館） 「災害時の文化財レスキューについて」鳥越 俊行 （文化財防災ネットワーク推進室・奈良国立博物館） 連 絡 「三重県文化財保存活用大綱の策定について」 展示解説 「三重の仏像」防犯関連展示 パネル展 「石碑が伝える災害の記憶と警鐘」				

(3) 第 61 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

近畿・東海・北陸ブロック 12 府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的として開催された。令和元年度は兵庫県明石市で実施され、三重県からは県指定無形民俗文化財「馬瀬の狂言」(伊勢市) が出演披露された。

日 時	令和元年 11 月 10 日 (日) 12 : 00 ~ 16 : 30
場 所	明石市立市民会館 (兵庫県明石市)
出 演 演 目	淡路人形浄瑠璃 戎舞 (兵庫県)、篠座神社里神楽 (福井県)、馬瀬の狂言 (三重県伊勢市)、室生の獅子神楽 (奈良県)、日野祭囃子 (滋賀県)、御坊下組の雀踊 (和歌山県)、大蔵谷の獅子舞 (兵庫県)

(4) 文化財保護強調週間行事

○文化財保護強調週間 (令和元年 11 月 1 日 ~ 7 日) 及び近接期間の行事実施状況

	県	市	町	合計
指定文化財公開事業・文化財ウォーク等 (文化財を見て歩こう!)	2	7	0	9
実演・発表会・体験教室・シンポジウム等 (本物を見て、聞いて、体験する! 参加する!)	2	6	2	10
特別展・企画展 (博物館・美術館に行こう!)	3	15	1	19
その他のイベント (コンサート・文化財愛護表彰・文化祭等)	0	0	1	1
合計	7	28	4	39

(5) 文化財防火デー

○関連防火運動実施状況 (令和元年 1 月 26 日以外に実施したものも含む)

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	2
市	12	15	12	22
町	8	10	8	19
計	22	27	22	43

(6) 文化財保護の組織 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

社会教育・文化財保護課 課長 林 幸喜

有形文化財班

班長 伊藤 裕偉
 主幹 (班長代理) 鈴木 昭子
 主幹 西村 美幸
 主査 上田 克彦
 主査 杉田 聡子
 主任 和澄 さやか

記念物・民俗文化財班

班長 小濱 学
 主査 (班長代理) 伊藤 文彦
 主査 高松 雅文
 主任 渡辺 和仁
 主任 亀井 勇希
 主任 小原 雄也

V 修理事業報告

県指定有形文化財 彫第 33 号 木造阿弥陀如来坐像

1 軀

指 定 日 : 昭 和 32 年 3 月 29 日
所 在 地 : 四 日 市 市 西 日 野 町 2970
所 有 者 : 顕 正 寺

文化財の概要

像高 53.5cm、ヒノキ材の一木割矧造。体幹主要部を一材より彫出し、両耳後で前後に、三道下で頭体を割り離し、内割を施す。内割内面をきれいに整え、漆下地を施したのち頭部に金箔、体部に銀箔を押す。その風貌から、平安時代後期の中央仏師の作であると考えられる。

修理の概要

表面の漆箔彩色層が、彫刻面・胎内ともに矧目の周囲から剥離しつつあり、後補の木屎漆や鉄釘が見苦しい状態であったことから、令和元年度補助事業として解体修理を行った。

修理は愛知仏像修理工房が実施した。工期は1年である。欠失していた裳先と肉髻珠は新補し、台座は黒漆塗り立ての方座を新造した。



写真 1 修理前



写真 2 修理前



写真 3 修理後



写真 4 修理後



写真5 解体（彫刻面）

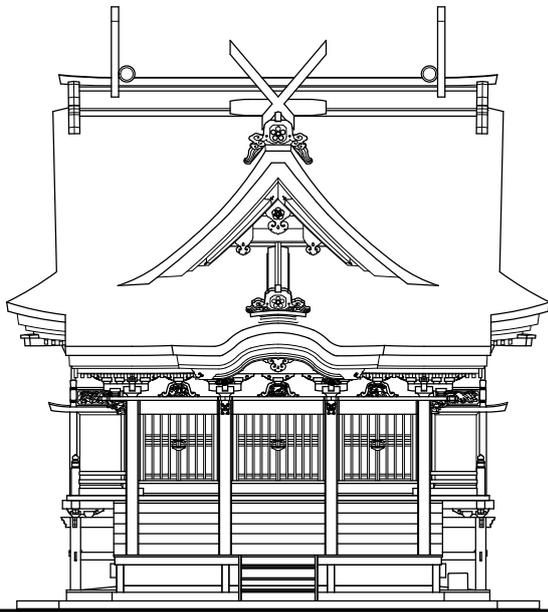


写真6 解体（胎内）

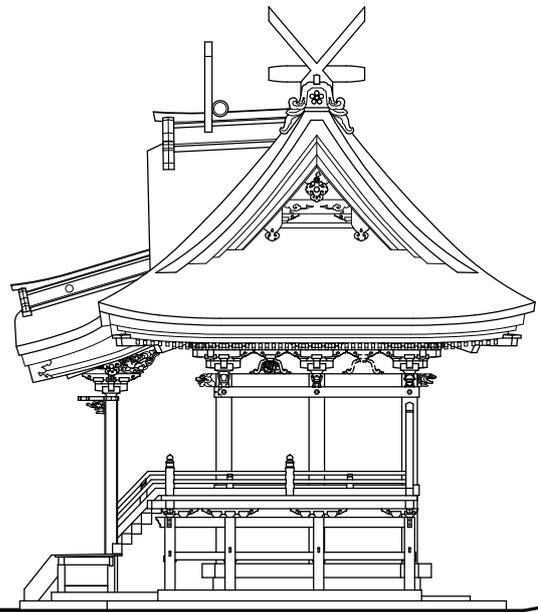
指 定 日 昭和35年4月17日
 所 在 地 名張市大屋戸62
 所 有 者 宗教法人 杉谷神社
 事 業 者 宗教法人 杉谷神社
 図面作成 株式会社 継承社

事業の概要

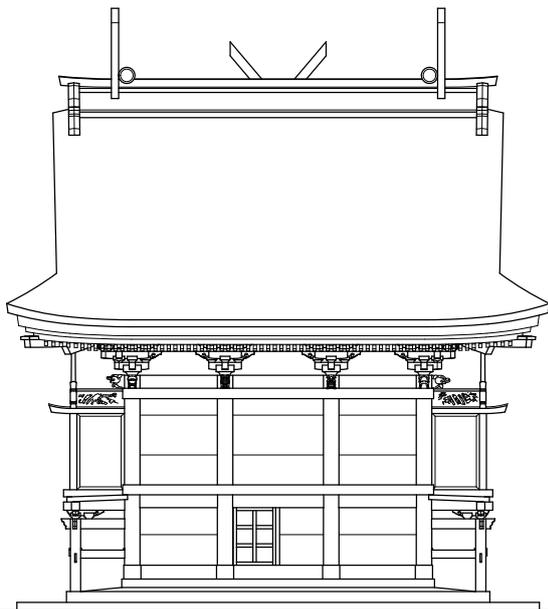
令和元～4年度杉谷神社本殿保存修理事業の初年度である令和元年度に、建物の傷み具合の現況調査と実測図作成の委託を実施した。この実測図について関係機関の了承を得たため、本誌に掲載する。



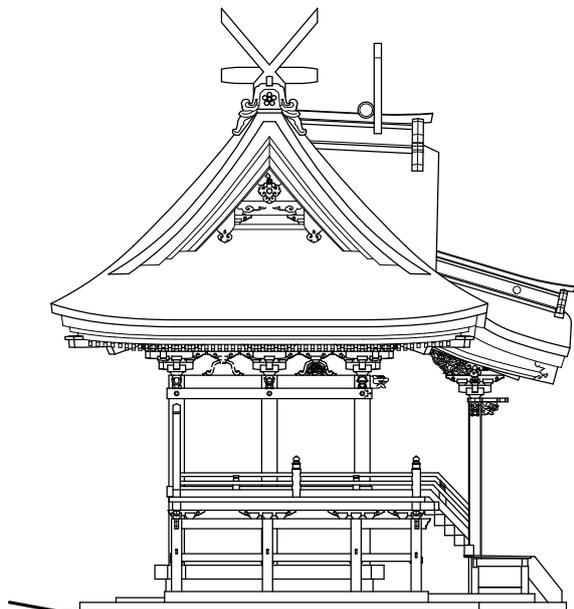
立面図（南面）



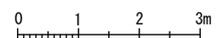
立面図（東面）

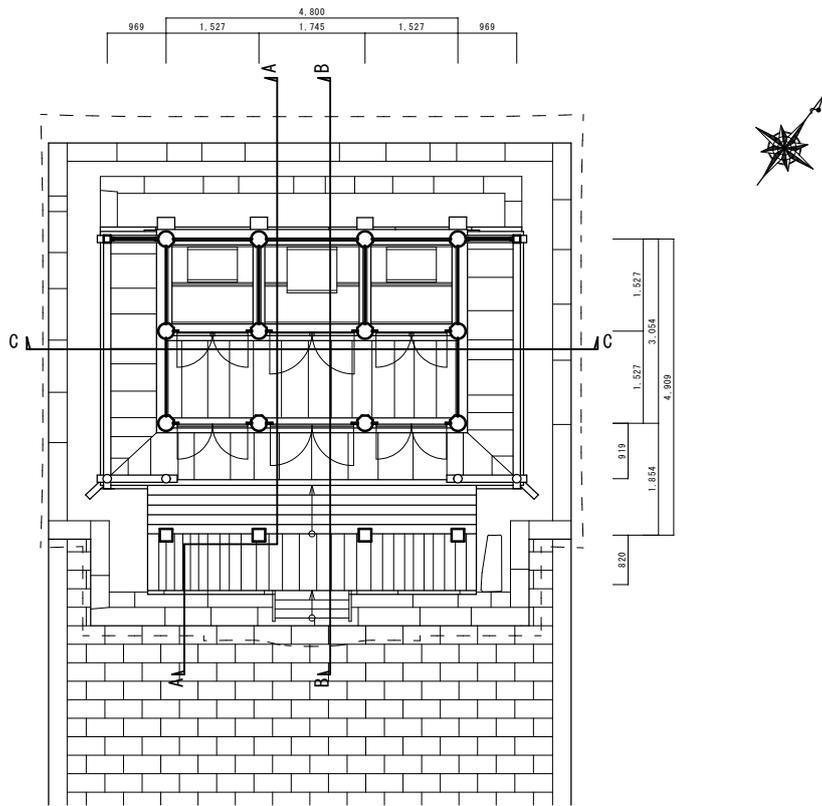


立面図（北面）

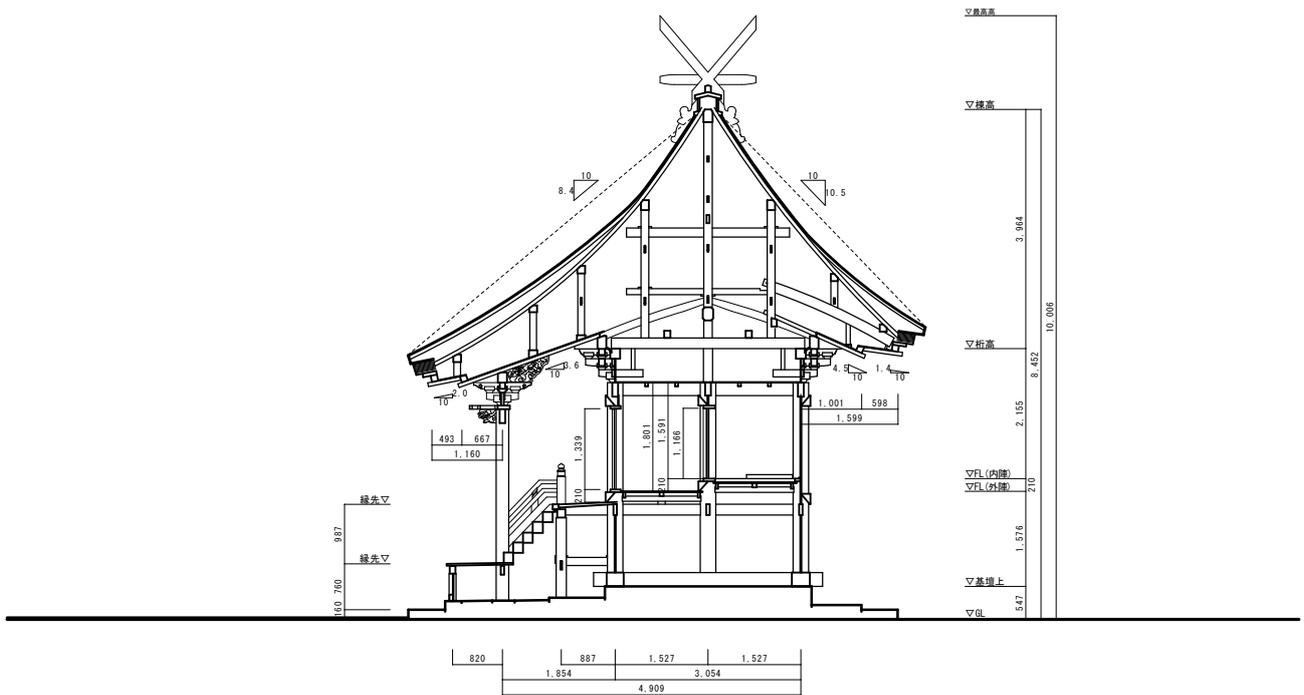


立面図（西面）



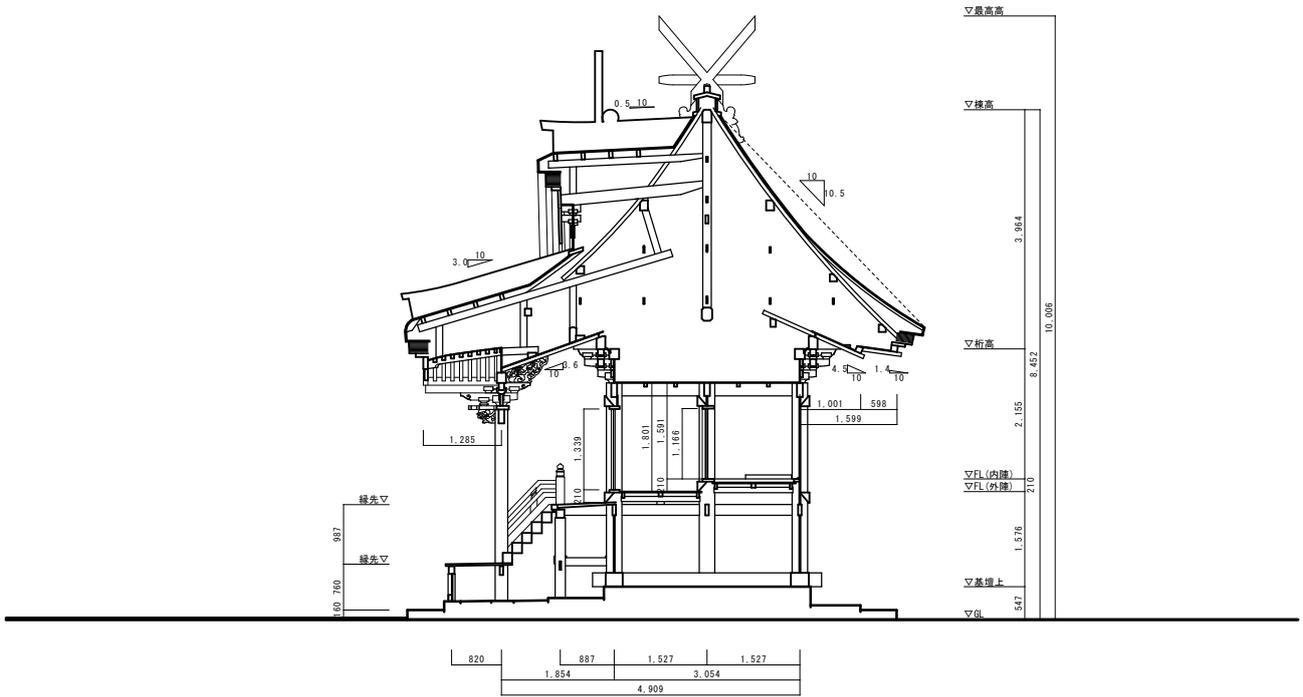


平面図

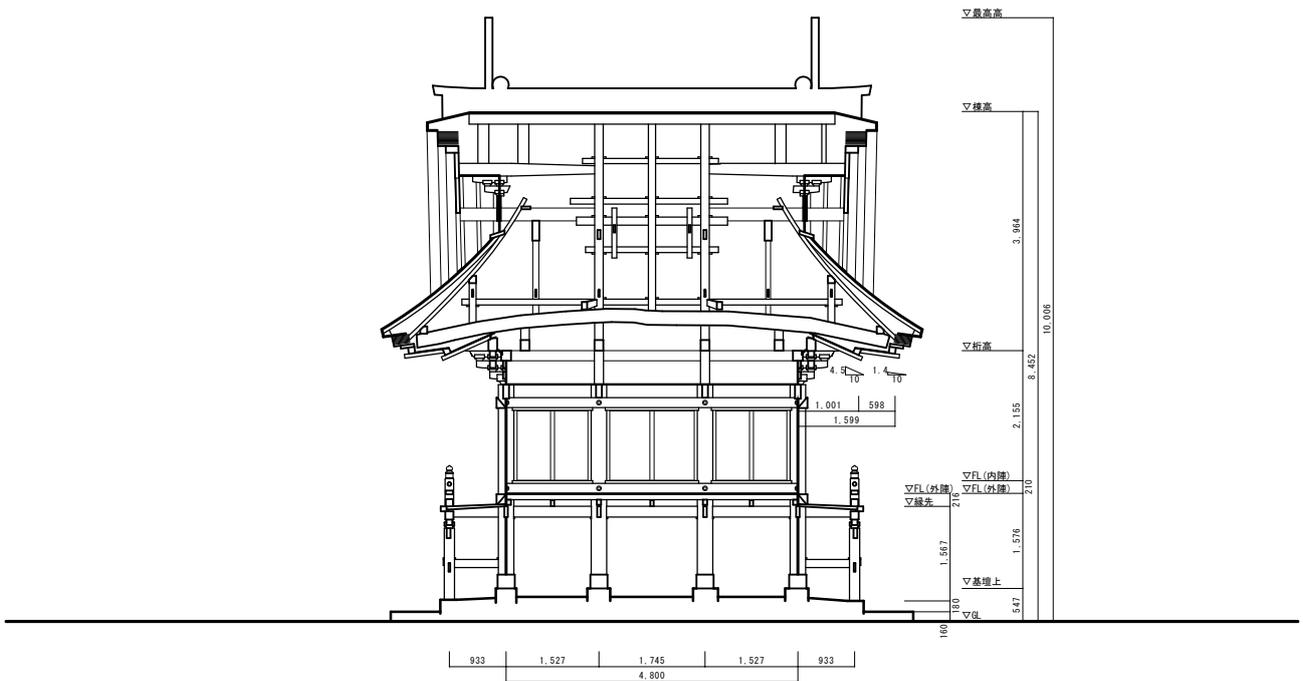


梁間断面図 (A断面)





梁間断面図 (B断面)



桁行断面図 (C断面)

三重県の文化財保護

令和元年度（平成31年度）

発行 令和3年2月
編集 三重県教育委員会

三重県内 国・県指定等文化財数

令和2年3月31日現在

種別		国	県	計
(有形文化財) 重要文化財	建造物（内、国宝2）	25	44	69
	絵画	20	44	64
	彫刻	67	112	179
	工芸品	18	60	78
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書3）	44	58	102
	考古資料(内、国宝1)	10	31	41
	歴史資料	4	10	14
	小計	188	359	547
無形文化財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	小計	1	2	3
民俗文化財	無形民俗文化財	10	38	48
	有形民俗文化財	1	25	26
	小計	11	63	74
記念物	特別史跡	1	-	1
	特別天然記念物	2	-	2
	特別名勝及び天然記念物	1	-	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小計	84	166	250
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	-	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		263	-	263
登録有形民俗文化財		1	-	1
登録記念物		2	-	2
小計		282	11	293
総計		566	601	1167
ふるさと文化財の森		4		4